



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

寒さで、体調最悪

2007,1,29



どういわけか、本日の朝は、激寒
朝方、寒さで目が覚めてしまった。
タイの温度差に敏感になってきた自分を感じる。
以前は、信じられないくらい暑い・非常に暑い・とにかく蒸し暑い・・・って思っていたけど、最近
は、寒いときは、「一発で風邪をひく寒さ」とでも言えるかもしれない。

事実、今、熱がある。
早く帰って、寝ようっと。

ちなみに、具合が悪くなった原因は、寒さと、昨日食べたスパゲティーであると推測される。クリーム系
の食事が急に食べたくなり、ペペロンちゃんを注文。
あまりの脂っこさに、2口でとまったが、「洋食は、結構、高級な料理」であり、もったいないお化けが
頭をよぎって、「無理やり食べた。押し込んだ。」

若いときは、暴飲暴食・無理やり押し込んでも、何とか吸収してくれたような気がするが、40歳の声を
聞くと、「嫌なものは嫌で、身体が、拒絶反応する。」という感じである。

日本生活、食べ物のバリエーションが多かった気がするが、タイ生活、食べ物の範囲が極端に狭まっている
気がする。

ハード・ワーク

2007,1,28



仕事が忙しい日々が続いている。
 帰宅も、職場を出るのが、8時ごろ。
 12時間は、工場に居ることになる。
 仕事をすると、結局は、「タイだから、楽だ。」とかいう訳ではない。
 日系企業で働く限り、コテコテの日本人社会だからである。
 職場移動が3箇所目となり、「過去のケツ拭きばかりさせられている。」という不満がぬぐいきれないが、「それだけの給料を支払っている。」と言われれば、言い返す言葉も、不満をいうこともできまい。
 正直、「そろそろ綺麗になったから、もう少しで楽できる。エヘヘ・・・」って思っていたら、「じゃ、次は、ここを掃除して・・・」って、散らかった部屋に放り込まれる。
 そんな気がして仕方がない。

今度こそ、最後の仕事である。
 ここを綺麗にしたら、行く先は・・・と不安半分と「楽できる。」という期待とが入り混じる。
 日系企業・・・さすがに、高給を支払って、楽な仕事をさせてくれるわけも無く、責任が重くのしかかってくる。

早く目標金額を貯金して、お気楽商売をしたいと思うが、そんな簡単にいかないであろう。



変な欲求

2007,1,27



お金が使いたくて仕方が無い。」
 いやみにしか聞こえない言葉の気がするが、平日は、本当に実感する。

田舎で一時販売していたダイエットビールは、売れ行きが悪いのか、一切、見なくなった。
 ということは、酒は、土日に、パタヤで買いため。
 田舎に帰ると、ワーカーに見つからないように、「外出禁止」である。
 一歩も出ない生活。
 夕食は、袋に入ったおかずや、箱に入ったものがほとんど。
 ビールに入れる氷は、1袋5パーツ-6パーツ。

田舎に居る場合、1日に使うお金と言うのは、100パーツ程度である。
 たまに、ダムさんの友人と食事に行ったり、信じられないくらいのポッタクリの日本食屋に行くのが、大金を使うといった話となる。(お客は一人も見ることがないが、何故かつぶれない。しかも、驚くべき料金の日本食屋が、存在する。)

ちなみに、土日にガソリンも補給してくるので、平日は、ガソリンを給油する必要もない。
 土日に、パタヤに帰らずに、ここで2年ほど生活したら、あっという間に、2軒目のコンドが買えるって思うが、そんな生活はするつもりも無い。

話は、戻るが、「お金を使いたい。」って欲求が発生したことは、人生ではじめてである。
 物に満たされた生活をしていると、物欲と財布の中身を考え、ストレスを貯めてしまうかもしれないが、買い物をする場所が無い(事実、セブンイレブンも無く、いわゆる「よろずや」しかない。)
 貸しVCD屋は、僕には関係ないし、沢山並んでいる屋台を見て、「食欲がそそる」というわけでもない。
 買い物をする場所がない 「お金を使いたい欲求。」
 その反動か、パタヤでの浪費はすごいものがある。

レストランでの食事・マッサージ・サウナ・・・旅行者並みの消費である。
 おまけに、一番の無駄使いは、外で飲むビール代。
 まあ、良しとしよう。
 それが、バランスを保つということでしょう。(笑)



ワン・デック

2007,1,13



ワンは、日という意味。デックは、子供の意味。

つまり、本日は、こどもの日である。

新聞の1面も子供一色。

街を歩いたら、おしゃれした子供がいっぱい。

タイの大人って、子供におめかしさせて、化粧させて、舞台上で躍らせるのが大好き。

まあ、日本でも、学芸会とかもあったが、七五三以外で、大人張りの洋服と化粧させている姿はあまり見ない気がする。

本日は、ドレス着て、化粧した子供をいっぱい見かけた。

TVで、「将来の夢は？」って子供に聞いていた。

学校の先生や医者、看護婦等、日本と同じ職種もあったが、意外にも多かったのは、「軍人」と言う言葉。

日本の子供は、「将来の夢は、自衛官」と何人が回答するだろうとふと思った。

あと、「プロ野球選手」等のスポーツ選手と答えた人も、タイではいなかった。

スポーツ=職業という意識はなく、スポーツ=娯楽なのかな？とふと思った。

ん・・・、もし、イサーンで聞いたらm「ムエイタイ選手」という回答もあったのかもしれない。

あくまで、ニュースの中の、ほんのひとコマですから・・・



みかんを食べる

2007,1,12



最近、よくみかんを食べる。

理由を3つ挙げてみる。

1.この時期、派手な果物が無い。

派手な果物という意味は、5月のライチやマンゴスチンという「南国でしか味わえない、日本では、非常に高価で、ありがたい果物」とでも解釈しましょう。

日本人にとって、みかんとバナナは、低価で地味な果物の分類であろう。

そりゃ、みかんとライチが、同じ価格で、並んで売られていたとしたら、迷わずライチを選ぶはずである。

この時期、果物屋に並んでいるのは、りんご・なし、スイカ、みかんである。

りんごも、なしも、日本の味・形を知っている人間にとっては、小さいし、味も薄いし、あまり魅力がない。(値段だけか?)

スイカは、年中見かけるから、丸ごと1個買おうという気にもなれず、消去法で、みかんというせんたくしになってしまう。

2.簡単に食べられる。

忙しいから、包丁取り出して、皮を剥くという作業が面倒くさい。

みかんは、道具を要しないという意味で、非常に魅力的である。

3.種のあるみかんに慣れた。

これが、一番の違和感だった。

日本では、種無しみかんは、当たり前。

タイランド、種ありみかんが当たり前。

種を出すと言う行為すら「面倒くさい行為」に思えてきた。
 スイカなら、「種があるのは当たり前」と思えるが、みかんの種だけは、なぜか違和感が残っていた。
 最近、種のある内側をガバット噛み、種を出した上で、残りの実を一気に食べるという手法？（食べ方）を覚えた。

ということで、僕の机の上には、いつもみかんが置かれている。
 まあ、ビタミンC摂取ということで、良いですね。

- -

冬は終わらない

2007,1,11



年末のような寒さは、過ぎ去った。
 但し、朝晩は、寒い。
 いまだに、毛布2枚の取り合いである。
 エアコンはもちろん、扇風機も付けない生活が1ヶ月ほど続いているような気がする。
 日本の友人に伝えても、本気にしないと思うが、「寒い」つて言葉をつい発してしまうタイランドの朝晩である。

- -

外国人事業法改正

2007,1,10



朝のニュースで、「外国人投資家への影響・・・」「1年以内に株を売却。。。」「等の二ニュースを耳にしており、「また、変な法律が通ったかー」って思っていた。

まとめると、「外国人事業法」が改正され、株は、50%を超えて持ってはいけない。
 議決権も50%を超えて、タイ人としなければいけない・・・ということらしい。

前から、外国人持ち株率は、49%以下だった気がするが、よく考えてみれば、設立のときは、名前を借りて、タイ人を51%以上にしておいて、会社設立してすぐに、買戻すというやり方が一般的な気がする。

なんか、「お金は出せども、口は出すな」みたいな政策で、ほとんど呆れているが、株価も下落しているようだし、タイの経済、どうなるの？って感じです。

去年の末から、「何かがおかしい」をずーっと感じている。

- -

パタヤに淫乱サウナ新登場

2007,1,6



パタヤに淫乱サウナが開店した。
 サウスパタヤからジウムティアンビーチまで行く途中の道 (THAPPRAYA ROAD) のソイ 1 1 を入っていく。
 SANSUKというサウナ www.sansukpattaya.com
 パタヤという場所柄、正統派サウナは、無いものだと思ってきたし、無いことが当たり前だと思ってきた。
 普通のゲイがめぐり合う・・・なんて、綺麗な場所柄ではない。
 はっきり言って、売った・買った・・・その中で、金持ち外人を見つける = 宝くじに当たる為に、がんばっている・・・そんな街であると思う。

さて、早速の情報です。
 料金は、180バーツ。土曜の20時ごろ・・・ファラン15人とタイ人6人というのが、客の総数かな。
 設備だが、プールは、新しく綺麗。だけど、狭くて、泳ぐと言う感じではない。
 プールの傍にジャグジーがあるが、残念ながら水ジャグジー。
 サウナは、ファランの出入りが烈しく、なかなか温度が上がらない。
 「出たり入ったりすんなー」って怒鳴りたい気分。
 フィットネスも一応あるが、ショボイ。
 発展場スペースは、広々しているし、海の傍だから空気も気持ち良い。

バンコクのサウナよりも、「とりあえず、誰でも、手を出してみる。」という感じが強い。
 さすが、Hの街、パタヤ。
 ファランも、タイ人も、よく手を出してくる。
 サウナだけを入りに行くのも、ちと、施設に物足らず、「友人と、プールサイドで、おしゃべり」する場所としては使えるかもしれない。

年齢にこだわらなかつたら、ここで、「売春・アルコール商売に無関係な、一般のゲイと友人になりたい」とは思うが・・・。」
 いずれにしても、選択肢の一つとして増えたことは、ありがたいことである。



組織に属さない生き方

2007,1,4



新年の日記で、「起業」について書いたが、「タイ化した」とつくづく感じる。
 日本で生活していれば、「会社員であることが一番良い。」と思っていたと思う。
 約束された毎月の月給、厚生年金の積立、ボーナス・・・自営業と会社員を比較した場合、「会社員が良い。(しかも、一流会社の)」という教育を受けてきた又は洗脳されてきたからだと思う。

タイ人の場合、とにかく起業したがる傾向にある。
 起業と言っても、リヤカーを引いて、10バーツの果物売る商売から、大きなお店を構えてビジネスをするという人から、階級に応じて、さまざまである。
 10バーツや20バーツの食べ物を売って、材料費を支払って、いくら手元に残るのか？は、非常に謎であるが、生活ができる稼ぎがあることは確かである。
 しかし、美味しく、客が良く入っている店は、すぐに車と家を買えるのではないかと、言う商売をしている店もある。

いずれにしても、タイの場合、独立して商売をやりたいという人が圧倒的多数を占めているような気がする。
 つまり、会社員を続ける人又は、組織に属することに幸せを感じる人は、少数派で、自分で独立し、又は、家族の家業(農業含む)をしている人、希望する人が、ほとんどを占めるように思う。
 大学を卒業して、銀行に勤めて、数年後に辞めて、洋服を売っている人、自分の会社でも、若くして係長まで出世したのに、レストランを開業するということで、退社する人など、僕の周りにも、沢山いる。

ダムさんの仲の良い友人数人の中でも、洋服を売る店を出している人が2人も居る。(ちなみに、大卒)

会社員が嫌だと言うか、雇われが嫌だと言う主張があるようである。

この国、お金を支払う人間が、非常に強い。

ましてや、雇用関係となると、まさに、奴隷のようである。

雇用する側とされる側には、圧倒的立場の差がある。

時間又は相手の能力を売った・買ったという意識はないのかもしれない。

今年に入ってから、「盲人マッサージ屋開業」のことが、頭から離れない。

いやいや、この収入は捨てちゃいかん・・・と思いつつ、月曜の朝に、5時半に目覚ましかけて、6時に家を出る生活を、「こんな生活嫌じゃーー」って思いたくもなる。

今は、貯金のする時期で、ずっと経済が悪くなるのを待つ。

「どかっと経済が悪くなり、人々が、物をたたき売りする時代になったら、開店の時。」って密かに考えているのである。



夢か？妄想か？我がままか？

2007,1,2



年が明けたので、今年目標とやらを考えてみた。

目標を考えたら、夢ということにつながってしまった。

夢と言えば、聞こえはいいが、「妄想」と言われても仕方が無い。

四捨五入して40歳の大台の自分が、「将来の夢」なんて、語れること自体、幸せかもしれない。

当面の目標は、「だらけた生活態度を見直す。」・・・この一言に尽きる。

田舎生活、何もやる事が無いという理由をつけて、浴びるほど飲み続ける毎日のビール。

低カロリーのピアシン・ライトを愛飲しているとはいえ、量が大量ならば、低カロリーの意味が無い。

二日酔いぐらいのことなら、特別に問題とはしないが、30代も後半となってきたら、「糖尿病」とかも気になる。

浴びるほどのアルコール=カロリー過剰摂取は、成人病の原因。

だらけた生活態度を正すという気持ちには、まだ、くたばりたくないという気持ちの他に、「将来の夢」ができたことも一つの理由である。

タイ化してしまったのかもしれないが、「起業したい」と切に思うようになってきた。

会社に所属するのが、ほとんど嫌に思えて仕方が無い。

会社に所属して、決った月給をもらうのは、魅力ではあるが、組織である以上、「従う」ことが仕事であり、疲れるのも事実である。

自分で思い通りに・好きにやりたいと思う。

起業というのは、大げさで、最近、「盲人マッサージの店を経営したい」と思ってきた。

会社を設立してしまえば、盲人マッサージだけでなく、翻訳などの副業も可能である。

低カロリー健康食品のおかずやなんかも興味あるが、盲人マッサージに比べると、需要があるかどうかは分からない。

国が、発展すればするほど、薄味となり、健康志向が強まる。

今のタイに、そんな需要があるかどうかは、不明。

盲人マッサージは、「他店との差別化をはかる」ことと、「マッサージ師の教育をきちんとすること」と、「在住ファランの多い地区で開店すること」で、ある程度の集客は、見込める。・・・と知っている。

但し、大儲けは不可能であるし、今の給料収入を維持するとしたら、10人程度の店では無理であり、30人以上のマッサージ師を抱え、1日に6時間以上、マッサージ師に仕事があるほどの集客がなくてはならない。そこまでは、ちょっと自信はない。

自分で食べていけるほどの収入と起業することで、労働許可書の取得が可能であるということが魅力である。

以前から、「早期リタイヤ」という言葉をよく発していたが、言葉を変えて、「食べていくくらいの収入

のあるお店を持ち、自分は、管理するだけで、あくせく働くことをしない生活。」という風に言葉を変えて、僕の40歳を過ぎた生き方としたいと思う。

「会社という組織に属さない生活」というのが、理想なのかもしれないと思う。

「お金」と「自由」のバランスと選択は、非常に難しい。

パーツのお金ができたら、会社を設立し、タウンハウスを2件（隣同士）借りて、10人の盲人マッサージと2人の掃除（お世話する）おばちゃんと受付兼事務のちょっと優秀な子を雇用し、盲人マッサージを開くと言うのが、40歳に向けての夢である。

その前に、なくてはならないものがある。「お金」である。

幸いなことに、日本にも、タイにも住む場所が確保できて、車もあるし、借金も無い。今は、高収入である。

今が、貯金のチャンスだとは、十分に理解はしているが、「何で、こんなに使っているの？」っていう月末収支の生活。

「怠惰な生活にピリオドを打つ」のが、当面の目標で、その後、「夢に向かって貯金する」というのが、第二ステップで、第三ステップは、「盲人マッサージ開業」といきたいものであるが、思うようにいくだろうか？

果たして、妄想だけか？現実は、会社に属して、組織に属して働く方が、安定しているのか？

色々と考えてしまう。



新年は、チャーン島で・・・

2007,1,1



新年は、朝6時におきて、チャーン島へ出発した。

チャーン島での正月は、多分3回目だと思う。

正月以外でも、会社の旅行とかも含めると、6回目か7回目になると思う。

何故、チャーン島に来ちゃうかといえば、とにかく、移動が楽なのだ。

車に、洋服積んで（バックではなく、洗濯籠）パタヤ発 船着場まで4時間ほど 車ごとフェリー乗船 ホテルまでそのまま車

しかも、島なので、あちこちに道があるわけなく、海岸沿いの道一本。

ビーチの名前を聞けば、大体の場所は、把握できる。

プーケットやサムイも行きたいが、飛行機での移動を考えると、ちょっと腰が引ける。

今回の目的は、ダイビングと休息。

ダイビングは、パタヤ在住だから、「いつでもやれる。」とは思っているが、さすがに、パタヤの海には潜る気もしない。

チャーン島までくると、やはり綺麗な海である。

但し、タオ島には、及ばないと思う。

今回のダイビングツアーは、はじめて、モーターボートのツアーだった。

確かに、早いので、移動時間は少ない。しかし、目的地に到着後、エンジンを止めたら最悪。小さい船 = ゆれが烈しい。

走っている時は、なんともないが、止まった途端、目眩がする。

ゆれを体感することで、何故か「海って怖い」って思ってしまった。

スピードボートのツアーの為、移動時間は、ほんの20 - 30分。

トイレもないボートという理由もあり、昼食は、無人島で休憩。

こういうときの、ファランはすごい・・・バスタオル敷いて、日焼けタイム。

タイ人船員も、昼食後に、適当な木を見つけて、昼寝体制。

僕だけが、どうやって過ごそうーって考えちゃう。

何もない贅沢にあこがれる割に、いざ、何もないところに連れてこられると、どうしてよいのか分からない・・・そんな感じ。

昼飯も、カーウクロン（発砲スチロールに入った、タイ式ほか弁？）とパイナップルという質素な食べ物だった。

僕の中では、ちょっと変わったダイビングツアーだった気がする。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

2月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

美味しいパン

2007,2,28



やまぎきのパンにはまっている。
元々、パンは、好きなほうではなく、「時間のないとき」「面倒くさいとき」に食べる程度の食べ物であった。
タイに来てから、パン食は、ますます縁遠くなっていた。

コンビニなんかで、気軽にパンは販売している。
例外にもれず、「甘い」のである。
クリームがたっぷりぬってあったり、パン生地自体も、やたらに甘いような気がして、どうも好きではなかった。

タイにも、ちゃんとしたパン屋は、存在する。
デパートの中に入居している場合が多い。
日系では、山崎パンも、デパートや大型スーパーマーケットに入っているが、実は、タイに来て5 - 6年経つが、買った記憶がない。
それだけ、興味がないものだったのである。
時間がないとき、ご飯が食べられないときに、仕方なしに買うものがパンであり、デパートの山崎パンを買う意味がないのである。
デパートの中でおなかを空けば、クーポンレストランやMKや日本食富士もある。

タイでは、何処に行っても屋台があるので、食べ物にあぶれない。
日本ですんで居たときは、パンは、「非常食」的存在であり、卵や牛乳と同じ部類で、取りあえず、かごに入れちゃう商品だった気がする。でも、今は、そんな必要もない。

で、山崎パンのパンを1ヶ月前に初めて購入した。

あまりの美味しさに驚きである。

というか、徐々に、「日本のパンを食べた」気がした。

日本のパンと、タイのコンビニパンと何処が違うかと言えば、非常に説明が難しいが・・・

「これなら、食べたいと思う。」というのが、本音である。

それ以来、毎週、山崎のパンを買うのを楽しみにするようになった。

僕が知る限り、山崎パンが入居しているのは、パタヤ北のロータスだけである。

山崎パンの為に、北ロータスで買い物をするのが、すっかり日課となってしまった。

僕は、ゴマがいっぱい入ったパンやレーズンパンを買う。

ダムさんは、チョコレートが山ほどぶっかったチョコレートパンを購入。

どうも、高いもの・高級なものを食べさせても、無駄な気がして仕方がない。

だって、日本食屋でラーメン頼めば、「トムヤムラーメン」だし、日本食屋で「とうがらしの山ほどかかったツナサラダ」のファンになるし、山崎パンでは、「チョコレートパン」

タイ料理に関しては、「この店は、美味しい」「この店は、美味しくない」という舌の意見は、ほぼ、一致している。

但し、タイ料理以外の食べ物となると、全く意見がかみ合わない。

まあ、何年かかっても、これだけは、一致することはないのであろうと思っている。



日本人へのストレス

2007,2,27



タイ関係の掲示板を見ると、現地採用日本人の悪口や見下したような書き込みが非常に多い。僕も、タイにやってきて、仕事を探した身であるから、非常に不愉快であると思っていた。

ところが、最近は、全く見方が違う。

と言うのも、タイへ会社の意思ではなく、本人の意思でやってきている日本人は、奇人・変人が多いと思う。(僕も含めて?)

バンコクではあまり感じなかったが、地方で自分の意思で働いている日本人は、その傾向が強いと思う。

日本で働いているときは、全く感じなかったが、こっちに来て、しかも、地方に勤務して、「こいつは、嫌なやつだなー。」「こいつが居るんなら、辞めよう。」って考えてしまうくらい嫌な日本人が非常に多い。

だから、日本人にストレスを感じている。

「何様？」って人が非常に多すぎる。

考えてみれば、日本では、ひょっとしたら社会の一員として認められないであろう人までもが、タイでは、かなりのポジションとお金を得て働いている。

「いい気になっている・・・」という言い方をして、間違えではない人間が多い。

例え、日本で使い物にならない人間でも、この国では、日本人と言うだけで、ある一定の価値が存在するのである。

しかし、日本人社会で生きるからこそ、日本人の価値があるのである。

現地の会社で、日本との関係など全く気にしない会社では、日本人の価値は、存在しない。

タイ人を安く雇ったほうが良いに決まっている。

タイ国、日系社会だからこそ、価値があるのである。

自分が、奇人・変人となったのか、周りが奇人・変人なのかは、「鶏が先か、卵が先かの議論となってしまふ・・・」

狭-----い、日本人社会だからこそということも含めて、日本人にストレスを感じる毎日である。



90日ビザ

2007,2,26



ダムさんのビザが下りた。
 今年は、書類提出時は、ダムさんは行かず、受け取りの際に行っただけである。
 1度行って、約束どおりの期間に戻ってきたと言う実績にかなうものはない。
 去年は、初めてのビザだったので、15日しか、滞在が許可されなかった。
 今年は、堂々の90日である。
 (実際は、1週間のビザでも問題のない滞在期間であるが・・・)
 会社の女の子も一緒に行くのだが、その子も、何の問題もなくビザが許可された。

タイ人を日本に連れて行く際のビザの苦労話は、あちこちで目にするが、申し訳ないが、階級社会を実感してしまう。
 ゴーゴーっ子は、IDカードと住居証明以外の証明書は、何もないであろう。
 会社の在職証明書・給料証明・納税証明・・・は、やはり強いと思う。

「人類・皆・平等」なんて言ったら、この国では馬鹿にされるのかもしれない。
 はっきりとした階級があるわけではない。
 あんたは、貧乏階級だから・・・なんて、誰も言わない。
 しかし、見えないところにあるからこそ、ずっしりと重みがある。

ちなみに、ダムさんの弟(ゲイ)は、彼氏に溺れて、一日中、何もしなくなった。(家の手伝いをしなくなった。)見かねたばあさんは、二人を家から追い出した。
 行く当てもなく、畑の真ん中で、ごさを並べて、二人で寝ている。
 可愛そうだと思うが、家に入れたら、同じことの繰り返しだから、どっかで働く気になるまで知らん振りするそうである。
 ちなみに、この弟、小学校しか出ておらず。
 一度も、会社で働いたことなく、家の手伝いとガソリンスタンド(給料3千バーツ・休みなし)しか仕事の経験はなし。
 同じ兄弟・家族でも、教育の違い・階級の違いを実感。

この国で、幸せになるのなら、ある程度の階級 = ある程度のゆとり = 金である。



警察だらけ

2007,2,25



ロシア人女性2人が、海岸のチェアーをめぐる争いで、バイクに乗った男に撃たれ、殺されたいらしい。そんな事件があったからか、ジョムティアン沿いは、警察でいっぱい。
 スニーっ子を後ろに乗せ、ノーヘルで、ハイネケンが少し入った状態で、運転していたもんだから大変。急いで、進路変更し、事なきを得る。

それにしても、パタヤでは、殺人・強盗が毎日のように起こっている。
 渋滞だなーって思うと、ファランが道端で、血だらけで死んでいたのを目撃したこともある。(交通事故)

エロの街・・・パタヤ・・・欲望と金と、騙した・・・とで、人間模様が複雑であろう。しかも、この街に来て、頭に血が上っているおっさんも沢山居る。

すごく、治安の悪い街に住んでいると思う。
 観光地であることを考えると、それほど大きく報道されることは、ないように思うが、
 バンコクに居たときの数倍の確率で、殺人・強盗・事故を目の当たりに目撃している気がする。

そんなわけで、KAOSのいつもの子で我慢した。
 なんとなく、新しい子は、性格も分からないし・・・この子なら、殺されることもなかるう・・・って子である。



50SQM 6,500,000パーツなり

2007,2,24



パタヤに90階建てのコンドが出来ると噂は、ご存知でしょうか？
 パンプもらってきたけど、名前は忘れまして。
 確か、ジヨムティアンのソイ5って書いてあった気がする。
 1スクエアメートル当り、130,000パーツ。(スタジオの場合)
 50スクエアメートルで、6,500,000パーツというのが、一番小さなスタジオの値段。
 例外にもれず、前払い方式で、予約金のほか、毎月108,000パーツを支払っていく。
 最後に、20%分を支払えば、晴れて自分のものである。

さて、90階建てが果たして出来るかどうか？(建設する技術があるかどうか)自体が問題である。
 申し訳ないが、どんな立派なゼネコンが建てるのかしらないが、現場で働く実際の方は・・・って考えると、大丈夫？って言わざる得ない。

確かに、90階とは、すごい。夢のようである。
 しかし、それに投資するには、よほど、金が余っていない限り、「冒険」であると思ってしまう。



電気の件

2007,2,21



電気の件で、まだ、ぐずぐずしている。
 つまり、まだ、開通していない。
 お金を払っていないから、電気を止めることは、早い。
 しかし、お金を支払ったからといって、すぐに復旧してくれるはずもない。
 まずは、「メーターの番号を教えてください。」と言ってきた。
 お陰で、平日に、パタヤまで支払い済みの領収書を探しに帰った。
 で、領収書に書いてある、番号を伝えしたが、予想通り、電気はつなげてくれなかった。
 仕方なく、今週末も、公共スペースの電気を泥棒する羽目になった。

この国では、「ちょっとしたトラブルを解決する為に、異常なエネルギーを必要とされる。
 なんとなく、生活すること自体に苦労が少なくなってきた感じがして、サバ-イになってきている。国
 が変わったというよりも、自分が慣れたと言ったほうが早いのかも。ちょっとしたトラブルを解
 決する為に使わなければいけない無駄なエネルギーについて、考えさせられた事件である。

部下のタイ人があっさり辞めると言い出した。
 社長がすごく可愛がってきた子だったので、僕よりも社長がショックだったらしい。
 僕は、スタッフレベルは、辞たいなら辞めたほうが良いと思っている。
 誰がやっても、大きな問題はないと思う。
 大切なのは、中堅のタイ人スタッフであり、そのスタッフを管理するタイ人である。
 この大きな幹さえ、押さえておけば、誰が辞めても大丈夫・・・そんなタイランド。

社長は、「この子は、性格が良い。」とか言って、いろんなものを買ってあげ、実家にまでお邪魔している。
 「恩知らず」とは、まさに、このことであるが、タイ人からすると、「給料が良い会社が見つかったから・・・」というのが、正当な理由であり、お世話になったも何も無い。

転職理由として「新しい仕事が見つかった」と言って、次の日から来ない人が特別な人ではない。不思議

の国。

で、後任をインターネットで募集したら、たった1日で、ものすごい数の履歴書が集まる。

皆、今の暮らし・現在の給料に満足していないようである。

しかし、1名の募集に対して、これだけの数の人間が応募するわけで、宝くじにでも買うように、履歴書を送り続けている人も多いような気がする。

大体が、今の給料の2-3割り増しの給料が希望給料であるが、なるほど、年末の5%前後の昇給を待つよりも、経験と言う武器を身につけ、さっさと新しい会社を探したほうが、給料はどんどん上がっていく。

男女の関係や友人との関係も、「金の切れ目が縁の切れ目」とよく言われるが、会社と従業員との関係も、「金の切れ目が縁の切れ目である。」

はっきりした国であるが、転職の国であるからこそ、一人に全部を任せるのではなく、複数で分散し、一人分の給料は安くという社会構造が成り立っている。

また、タイ人の就業年数は、非常に短い。

日本人のように、25年・30年とサラリーマンを定年まで続ける人は、非常に少ない。

大部分は、実家に帰り、農業をするか、お金を貯めて、事業をするのである。

事業と言っても、屋台から上は・・・さまざまなので、誰もが実現できることである。

就業年数が短いと言うのは、これだけ短期間で、給料を上げたら、行き着くところがないからである。

給料と見合った能力を有する30代のタイ人は少ない。

当然、30代になれば、転職が、バタツト難しくなるという現実もある。

20代が、転職のチャンスであることは、間違いない。

会社という組織に属す以上、サバライな事はなく、嫌なこと・我慢することが多い。

日本人は、仕事の面白さ・やりがいなどと仕事を美化し、なんとなくごまかしているようなきもする。やはり、「金もらう以上、楽なわけない。」というのが、正しいであろう。

どうせ、大変ならば、「お金がいっぱいもらえるところが言いに決まっている」のである。

タイに来て、6年目になるのかな？

やはり、サバライな人は、「お金を持っている人であると思う。」

日本では、「金で幸せは買えない」というが、「金で幸せは、買えない」のも事実だが、「金がなければ、何も買えない。」というのも事実である。

食べるお金の心配がない。親戚・友人とお金のことでもめない。もっと分かりやすく言えば、借りた・返さないでもめてないタイ人は、どのくらい存在するのだろうか。

給料がアップすれば、周りの期待も高まる。

周りの期待とは、「仕送りして欲しい。」「毎月、実家に帰って欲しい(お金を持って)。」「急な出費の際に、貸して欲しい。」ということである。

結局は、人生、楽じゃないって事ですね。



驚いたこと

2007,2,10



タイ在住も長くなったので、日々の生活の中で、特別に驚くことなどは少なくなった気がする。ところが、先日、ここが外国であることをまざまざと痛感させられるような事件があった。

電気・水道と言えば、ライフ・ラインとも言われ、日本では、多少、支払が遅延しても電気が止められたり、水道が止められたりすることは、少ないと考えて良いであろう。督促通知（ピンクの紙でくるような記憶があるが・・・）が何度も届くシステムになっている気がする。しかし、タイランド・・・支払期限が過ぎたら、7日後には止まるのである。

電気代の請求は、バーコード付で送付されてくる。それをコンビニに持参すれば、指定の期限までなら、コンビニで支払える。アパートに住んでいた時は、家賃と一緒に支払うので、アパートの請求金額どおりに家賃の支払の際に支払っていた。コンドを購入し、電気会社から直接請求がくるようになってからは、コンビニで支払いをしてきた。しかし、1月31日の支払期限内に支払うことをすっかり忘れていた。で、2月の9日に仕事を終え、「週末パタヤ」の為、笑顔で帰宅したところ、「停電」あれ、おかしいな……。エレベーターに乗ってきたし、廊下に電気が付いている……。そんな状態でも、「まさか……。停められているはずがない。」という思い。思い出したかのように、電気料金の請求書を見て、「支払期限後、7日以内に支払を確認できなかった場合は、電気を止めます」という文書を発見。それでも、信じられない。このコンドに住んでいて、たった100パーツの支払が遅れただけで、7日後に、電気が停止なんて……。確かに、支払期日以内に、払っていないのは、事実である。でも、電気でっせ……。電気。

とりあえず、電力会社へ行こう……。ってバイクを飛ばした。しかし、電力会社は、お役所。5時で終わって、パタヤに帰って、電力会社に到着したのは、夜の7時。警備員の「5時で終わり。土日休み。」の声に、がっくり。

しかし、ここからがタイランドである。金次第で、何でもあり……。というところである。コンドの修理人に電話をして、共有スペースの電気を部屋まで引いてくれる交渉に成功。もちろん、「感謝は、言葉ではなくお金である。」

「感謝は、言葉ではなくお金」というのは、すごく嫌な言い方に取られる場合もある。しかし、「ありがとう」って言われたって仕方ないわけ。「何かをやってもらえば、それは、対価が発生するのは当たり前である。」日本は、元々なんでも高いから、多少の付加サービスはすべて無料であるという意識が叩き込まれているような気がする。サービスは、無料だからサービスというのではなく、何かをしてあげるからサービスと言うわけである。



毎日のように、新空港とドンムアン（旧国際空港）のニュースを耳にしている。

新空港が、欠陥工事で、使えないとか、賄賂だらけだ・・・とか・・・

いろんな事情があり、ドンムアンとスアナプーム新空港の二つを国際空港として利用することが決定されたらしい。

国際空港が、バンコク周辺に2つあるというのは、紛らわしいと思うのは、僕だけだろうか？

旅なれた人間（タイを良く知る人間）ならば、ドンムアンとスアナプーム新空港の地理も事情も良く分かっていると思うが、「タイへ行くよ---。初めてだから空港まで迎えに来てね---。」という方なら、「どっちの空港へ着くの？」って聞かれても、返答に困るかもしれない。

事情は理解するが、とにかく「国の玄関」なのだから、誰もでに「分かりやすく」「間違えないように」してもらいたいと願うばかりである。

それにしても、政治といい、国際空港といい、年末のテロといい、タイ国立銀行の政策といい、外国人事業法の改正といい、最近のタイランドは、国際的信頼度を著しく低下させる事件ばかり起こしている気がする。

普通の生活を送っている人間は、全く気にもしないことのような感じもするが、外国人として、アンテナをちょっと張ると、「国際的信頼度低下」を肌で感じざるを得ない。



再び、日本へ・・・2ヵ月後

2007,2,5



今年も、ダムさんの日本行きの季節が近づいてきた。

今年も、ダムさんのチケットは、マイルージなので、無料チケットである。

その代わり、もう一人会社の部下を連れて行く。

日本人一人、タイ人2人の旅である。

おまけに、帰りは、両親が訪タイするので、日本からタイは、5名となる。

12月に日本へ帰ったばかりなので、「帰りたい。」という気持ちはあまり無いし、国内旅行又は近隣諸国を旅行したいと思っはいるが・・・

カンボジアへの思いも強くなるばかりである。

国境までしか行ったことがない。

何年か前に行った国境の可愛い子が忘れられないが、アジアを旅慣れた人から聞くと、「スニーのような場所は、他にはない。」「安全・コスト・インフラを総合的に考えると、ここかな。」というような意見も良く聞く。

適切な意見だとも思うが、スニーじゃ、もはや、「感動」「新鮮」「ワクワク・ドキドキ」は、皆無である。

風邪が完治しない。

寒さが続いているからである。

しかし、やっこのことではあるが、暖かくなりつつある予感。



ダイエット2キロ

2007,2,4



薬と言うのは、本当に怖いと思う。

タイの薬を飲んだら、ボケーっとして1日仕事にならない。

(風邪薬の場合、当たり前のもすが・・・)

咳止め、解熱剤であるが、めちゃくちゃ強いような気がする。

しかも、朝は、薬を飲んでいないので、昨夜の薬が、次の日の夕方まで、眠気を継続させていることになる。

いやはや、恐ろしいと思う。

けだるい感じと、「大あくび」の為、タイ人スタッフは、「笑っている」

しかし、僕自身は、一秒でも早く横になって休みたいと思う。

具合が悪く、ダムさんに薬を飲まされたら最後・・・ボケーっとなっているところへ、次の時間の薬と水を差し出され、自然と飲んでしまう。

さらに、ボケーっとなり・・・悪循環とは、まさにこのことである。

しかし、意外な効果が・・・体調不良の間、ビールを飲まない日々が続いた。

その結果、2キロの減量に成功したのである。

なんとなく、おなかまわりの肉が落ちた気がしていたが、「気のせいだろう。」と思っていた。久しぶりに見た「5 キロ代」の体重に、喜んでしまった。

たまには、病気でもしてみるものである。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

予定よりも多い来客

2007,3,25



ダム家登場。

予定は、大人1人、子供2人だったが、到着すると、大人3人子供2人だった。

スタジオタイプの部屋に、僕も含めると7人で泊まると言うのは、僕の常識からするとあり得ない話であり、僕は、黙ってホテルに宿泊した。

「週末、やすらぐために購入したコンドがあるのに、何故、ホテルに泊まらなくてはならないんじゃないじゃー。」って怒りをあらわにするのも馬鹿らしく、「2週間、お好きにどうぞ。」です。その代わりに、「僕は、煩わしいので、一緒には、居ません。お付き合い程度の夕飯のみね。」っていうスタンス。

そりゃ、文句は言いたいが、言っても仕方ないとあきらめの境地である。

「今後の為に、やさしくしない。お金もあげない。」

ダムさんは、「たまにのことだ」とは言うが、人のコンドを「リゾート地」代わりに使用されたんじゃないとも思うのは、事実である。

また、所有者である自分が、ホテルに泊まったことをどう考えるのか？知りたかったが、「何とも思わない。」というのが、現実である。

ちなみに、お土産のひとつもなく。「家で取れたフルーツぐらい持って来いよー。」とってしまうが、これも、ぼやいても仕方ない。

まあ、この家族がいる限り、ダムさんは、大きな何か背負って生きていかなければならないようだ。

ちなみに、今年、中2になる甥っ子は、学業成績が良くないため、「学校に行かせても意味がないから、中学でたら、家を手伝わせる。」ことが決定。

これで、この子の将来は、「よほどの幸運がない限り、一生、中流以下が決定。」

不思議なのは、日本人の場合、損得勘定を考えずに、学校に進学させるような気がするが、タイの場合、学校に通わせるのは、明らかに投資である。

高学歴 = 高収入（とは限らないが、可能性は、グンと広がる）を信じ、投資をする。
 その証拠に、「私は、高い授業料の大学を出たから、高い給料をもらわなければいけない。」「この子に、学校行かせても、成績も悪く、ろくな就職口もないから行かせない。」と言う。
 「勉強ができないから、手に職を・・・」「何か一芸を・・・」「何か技術を・・・」
 というのではなく、「勉強ができないから、農家で良い。」という発想。
 うーん、正しいのかわからないが、90%以上の確率で、将来、お金の苦労する生活を送ることが決定したとしたら、やっぱりなーんと思う。

自分たちは、農家で苦労して、「農家なんて、大嫌い」と思っているも、子供に同じ苦労をさせるんだから、不思議な国民だと思う。
 少なくとも、「お父さんは、行きたくても学校にいけなかったから、子供には、行かせたい。」という言葉は、タイではあまり聞いたことがない。

「貧乏の循環の法則」は、今回も曲がらなかった。

ちなみに、ダム家の学歴と現在の収入だが、ダムさんがだけが、ダントツで、一家の年収の半分がヶ月の収入である。

レズの双子の姉は、短大を出た後、2ヶ月ほど工場で働いたが、「やっていられずに退社」

ゲイの弟は、小卒。一時、3000パーツの賃金でガソリンスタンドで働いていたが、労働意欲なく、何もせずに、家でごろごろの生活。

甥っ子の中2が、今回の話で、農家跡継ぎ決定。

残るは、もう一人の弟だが、見る限り、勉強ができそうもないので、同じく、農家を継ぐのかもしれない。

「貧乏の循環」から一人脱出したダムさんだが、「タイ国、タンブン思想」のお陰で、浮上不可能な状況となっている。



タイの免許とは・・・

2007,3,24



ノーヘルで警察に捕まった。
 クソー、罰金かーで済めばよいが、なんと偶然にも、バイクの免許を忘れてきた。
 従って、実質的には、免許不携帯とノーヘル。
 堂々と、普通自動車免許を提出したが、警察官は、特に何も言わず、罰金の紙を書いている。
 もちろん、タイ語の免許書である。
 何も、言われず、交通切符を渡され、免許書（普通自動車の免許）没収。

で、夕食を取って、罰金を払いに行ったが、罰金を支払い、領収書はもらったが、免許が帰ってこない。
 捕まった時間を見て、「捕まった場所に行き、この領収書を見せて、免許を返してもらえ」と言われる。
 まったくーいい加減。
 一応、捕まった場所に行ったが、警察が同じ場所にいるはずもなく、翌日、警察署に再度行き、無事に、免許交換。

どうも、タイでは、免許というのは、大事なものではない気がする。
 少なくとも、ID CARDの方が、重要度が上だと思う。
 日本では、身分証明書代わりのものだが、タイでは、ID CARDがあるから、それほど重要なものではないような気がする。

だって、バイクの違反で捕まって、普通自動車免許出して、何も言わないんだから・・・



不穏な事件

2007,3,23



最近、不気味な事件が続く。
 情報を得ようとアンテナを張れば、張るほど、恐ろしい事件が多すぎる。
 恋愛のもつれで、刺した・刺された事件は、可愛いもんだと思う。
 最近のニュースで自分でも、守りきれない事件の一例を紹介したい。

長距離バスが、走行中に、煙を發した。 乗客の「停車しろ」を振り切って、走行を続ける ブレーキが利かず そのままわき道に突っ込み炎上 乗客30人焼死

で、ラジオのニュースで、「運転手に教育をするよう義務づける」とか「教育」と言っているが、「運転手への教育ではなく、初等教育の徹底」でも義務付けてほしい。
 とは言っても、スニーでシンナー付けの餓鬼を見ると、こういう大人が、バスの運転手として働いていても不思議ではないと思う。

警察が、一般市民の腕を切り落とす。
 この国の警察のレベルは、何かと思う。
 一般市民でさえ、下っ端の警察は好きではない。
 実は、タイの場合、当然のように、軍と警察では、軍の方が強い。
 日本人も警察が好きだと言う人間は、居ないとは思いますが、タイ人も警察は嫌いだろう。

但し、この国の場合、まだまだ「役人が強い」傾向にある。
 善良な市民の腕を切り落とすなんて、「本当に近寄りたくない人たちである。」



埋まらない溝 その2

2007,3,20



タイ人との埋まらない溝の2つ目は、家族であろう。
 ちなみに、ダム家の人たちが、今週末から2週間、遊びに来る。
 2週間でっせー－－－－－－－－。
 理由は、「夏休みだから・・・」
 子供だけで行かせるわけにもいかず、大人の付き添いつき。
 で、パタヤに来るまでのバス代しかないのは見えていて、3食・遊び・帰りのバス代まですべてこちら負担。

「タイには、秘密はない」とよく言うが、「なぜ、コンドを買ったことを言うのか？」「なぜ、僕の給料を言うのか？」「なぜ、暮らしのレベルを言うのか？」分からない。
 一度呼べば、2度目も来るに決まっている。
 「夏休み、行くところがない。」とは言うが、以前は、何処も行かなかったはず。

家族が、大切なのは良いことではあるが、「一方的に頼られても困る。」というのが、本音である。

ちなみに、僕が、兄弟の家に行って、泊まるという選択肢もないし、僕の記憶の中では、おじさん、おばさん（僕の父や母の兄弟）が、何日も泊まったという記憶がない。
 遊びにくることは、しばしばあるし、冠婚葬祭時に、1泊だけ泊まることはあるが、何泊もしたという記憶もない。
 今の僕に置き換えても、成人し、結婚し、子供も家庭もある兄弟の家に行って、泊まるという選択肢もない。多分、ホテルに泊まると思う。

その方が、お互いに気が楽だからである。

文化の違いとはいうが、僕にとっては、非常なストレスである。
休みの日しか、パタヤに行かない。
その休みの日ぐらい、自分の自由な時間を過ごしたいのである。
面倒なこと・煩わしい事は、ご免である。

まあ、仕方がない・・・とあきらめるか。
それにしても、日本食以外の、食べ物という食べ物を全部食べつくし、日用品の買い置きまですべて持って行く家族を、快く受け入れられる日本人が居たとしたら会いたいと思う。
日本食や日本の酒など「今まで見たこともないもの」は、無事であることが、何よりも良いことである。
ロータスやビックCで売っているものは、「どうぞ。」ですね。



埋まらない溝 その1

2007,3,19



僕は、タイ人と付き合っている。
価値観の違いというか、どうしても納得いかないことがいくつかある。
つまり、相手の言っていること・考え方・気持ちは十分に理解をするが、合意・納得はできないことがいくつかある。

そのひとつは、仕事・収入に関する考え方。これは、日本に住んでいる100%日本人と、僕の考え方でも温度差がある気がする。最近、「ある一定の貯金ができたら、給料が安くても、気楽な職に変わりたい。」「ある一定額貯まったら、マッサージ屋をやりたい。」とつぶやく。タイ人からすると、給料が安くなる転職などありえないのである。又は、商売を始める為の、計算をして、今の収入以下の利益しか見込めないと予想されるのに、商売を始めるという選択はない。給料(収入)が下がっても転職する者は、大馬鹿者か、家庭の事情など、よほどの事情があるためであると考えている。確かに、日本人で同感する人も大勢いるはずである。

但し、日本人の場合は、「やりたいこと」「生き甲斐」「好きなこと」に出会うと、割とあっさり捨てるかもしれない。

今の仕事は、確かに収入は良いと思う。しかし、責務・義務も大きいのである。

上に立てば、出費も大きい。

「責任は少なく、給料は、高い。」は、理想ではあるが、そんな職場は、よほどの幸運でなければ、見つからない。

タイに来た際に、「収入や安定を捨てた」のかもしれない。
タイに来た目的は、「バリバリ仕事をする。」為ではない。
タイで働くからには、「日本よりも、サバァイで働きたい。」

と、贅沢を言ってしまう。

40歳で、ある一定のお金を残し、残りの人生は、店番程度の仕事をしながら・・・っていうのが、夢である。

この話をしていくと、ダムさんの考え方と僕の考え方の根本の違いが分かる。

ダムさんの言うサバァイは、「上に立つもの」=「会社での地位が高い」=「命令できる立場の者」=「給料が高いもの。」を指す。金と地位が、サバァイの象徴である。

僕の言うサバァイは、重責がない仕事である。(責任が重くなく、ほどほどの食えるだけの収入の仕事である。)

上に立ったことがないから、苦労やプレッシャーも知らないんじゃないかと言いたいが、それを言うと、喧嘩になってしまうから言わない。

重い責務だからこそ、高給なわけだが、「給料安くても、重責がない方が良い。」というのが、僕の今の考え方。

今の状況で行くと、仮に「ご気楽・安月給」な会社へ衣替えをしたり、「フル回転しても、僕の日本人と

しての最低賃金もでないようなマッサージ店を開業したい。」と言い出したらしばらくは、口も聞いてもらえない気がしてならない。

日本人なら、分かってもらえるだろうか？とふと思う。



集会

2007,3,16



週末に、過激な反クーデター集会が予定されているようである。
現在の、暫定政権への不満に起因した集会のようである。
支持率低下の話は、よく耳にするが、9月にクーデターを起こしての政権だけに、複雑である。
1) クーデター後、半年を過ぎても、タクシン政権の汚職の事実を証明できない。
2) 経済分野の失策が続いた
3) 軍事政権でありながら、治安が安定しない(昨年末のバンコクテロ事件)

なるほど、言われてみれば、理解できる。
確かに、色々なところで、「悪い部分」が出てきている気がする。
治安問題が、やはり一番気になる。
南部では、殺された・首を切られたなんて話は、毎日の出来事のように、驚きもなくなった。
ガソリン代も、26バーツを超えた。
どんどん上昇し続けているときは、毎回、ニュースになっていたが、一度少し下がった後に、再上昇している最近は、大きなニュースとなっていないように思う。

最近、何かがおかしいタイランド
パタヤだけは、週末、年に一度のパタヤ・ミュージックフェスティバルで大盛り上がりなんだろうが、テロでも起きないかと、やや不安。



美味しい食べ物見つけた

2007,3,15



サウスパタヤからジョムティアンビーチに行くまでの道は、現在、拡張工事中。
よって、通行止めや渋滞がひどい。
最近、観光客が多い、ビーチロードやセカンドロードは、ほとんど行く機会がないが、それでも、マイクショッピングセンターやロイヤルガーデンに行くときがある。

都心からの帰りは、ウォーキングストリートをバイクで通りぬけることが多い。
ウォーキングストリートは、昼間であれば、車両通行可能であり、そこから、船着場を抜け、ジョムティアンの方向へ抜けることが可能である。

最近、夜のウォーキングストリートは、何か特別な用事がない限り、行かない場所となっている。
だって、人ごみ・高いシーフード、雑踏・・・どれをとっても、いい事なんかひとつもない場所である。

さて、昼間、ウォーキングストリートを通ったら、イタリアンジェラートの店があった。
「たまには、美味しいアイスクリームを・・・」と思って、に入った。
小さいカップで、69バーツというのは、タイの物価からすると、「いい値段」である。

驚きです。「マジで美味しい」
タイに来てから、多分、舌が香辛料と調味料で味覚感覚が麻痺している気がする。

徐々に、「美味しい」と思った。

タイのアイスといえば、街中をドラム缶のような車体を押してアイスを売るおじさんのアイス。5 - 10パーツで、何故か、甘いもち米などトッピングも多く、最後は、練乳をかけてくれるココナッツのほんのり香るアイス。

また、会社の食堂で売っている5パーツの棒アイスの味に慣れてしまっている。

5 - 10パーツアイスは、「非常に美味しい」とは言わないが、「十分に満足できる美味しさ」である。

しかし、ここのジェラートは違った。

舌に絡まる冷たさ・・・本当のフルーツの甘さ・・・どれを取っても、「食べる感動」

徐々に、食べ物で感動した。

しかし、同時にちょっとむなしくもない。

日本に住んでいたら、この程度の味の食べ物は、日常的に食べているはずである。

観光客が食べたら、「意外といけるかも・・・」というレベル。

その程度の味でも、ものすごい感動を味わう今の自分をちょっとさびしく思う。

日本じゃ普通の味・・・外国じゃ、貴重・感動ものの味・・・ということだろうか。

毎週、通いたい店が、またひとつ増えた。



確定申告

2007,3,11



昨年末、長期ファンドを10万パーツ購入したので、3万パーツ分の所得税が確定申告で戻ってくるようである。

タイの場合、6万パーツまでが基礎控除。

配偶者控除が3万パーツ

子供で未就学が1万5千パーツ、学校に行っていれば、1万7千パーツの控除。

その他、退職積立金・社会保険・生命保険・長期ファンドなどの項目があり、確定申告することで、追加徴収・還付される場合もある。

日本人同僚も、確定申告で、払い過ぎていた分の税金が戻ってきた。(小切手で・・・)

しかし、僕の分は・・・といえば、追加書類の提出を求める手紙が来た。

しかも、原本を持って来るように・・・との事なので、県の税務署まで行かなければならない。

この手紙は「面倒くさくて、税務署まで行くのを諦めるかもしれない・・・」という期待にかけたような気がしてならない。

当然の事であるが、一度払ったお金を戻すというのは、この国では、大変なことである。

「法律や制度がどうか書いてあっても、一度支払ったお金なんて、返すわけがない。」

同僚の人間は、何千パーツの単位の還付申請であったが、僕の場合は、3万パーツの還付申請。

役所からしてみたら、返したくないのは当たり前。

とは言っても、「返してもらおう権利がある」とも思っている僕。

返ってくるかどうかは分からないが、もし、返ってきたら「タイという国を見直そう」と思う。

ちなみに、県の税務署まで足を運び、オリジナル書類を見せ、コピーをすべて提出した。

その後、どうなるかは・・・神のみ知る・・・いや、税務署のみ知る。



サバイバル社会

2007,3,10



タイ人と仕事をしている日本人は、「タイ人は・・・」「タイ人は・・・」とぶつぶつ文句や愚痴を言う人間が非常に多い。

そういう自分も、その中の一人である。

しかし、最近、自分の会社で、面白い現象が現れている。

僕の会社では、休みを利用してセミナーと題して、ホテルの中で、講習会を開く機会が頻繁にある。もちろん、休みの日に開催するのであるから、自由出席であり、強制もしない。

しかし、面白いことに、毎回出席する子は、優秀なタイ人で、「将来の幹部候補」として目をつけている子が多い。

逆に、「反会社」「やってもらって当たり前」の子は、出席しなくなった。

つまり、会社にとって、マイナスであろう職員は、自然と参加しなくなった。

新しい会社は、ある人間を絞り込むのが難しいと思う。

まともな人間しか働けない雰囲気＝常識なき人は、居られない会社になれば、その会社の人事問題は、全くなくなると思う。

逆に、悪いやつが幅をきかせる会社であれば、いい人が、居られない職場になってしまう。

その場合、正常な形に戻す為には、莫大な労力が必要となる。

何事も「最初が肝心」というが、まさにこのことである。

日本にも相当数がいるとは思いますが、「会社生活不適合人材」が存在する。

別に、会社員がえらいわけでもなんでもないが、組織の中で働くということは、「人間としての常識」

「社会性」「平均的な価値観を持っている」「基本的学力」等、必要とされるものも多い。

タイの場合、上記のことができない人材があふれているのも事実である。

タイ人を羨ましく思うこともある。

例え、社会で、会社で生きていかなくとも、選択肢はいっぱいある。

実家に帰ってもよし、リヤカー引いて商売を始めても良いし・・・選択肢の幅は山ほどあると思う。

何処に行こうかな？

2007,3,8



去年に続いてのソクラーンの日本行き。

ディズニーランドへ行く計画もあったりする。

本当は、「何処へも行かずに、のんびりごろごろしていたい気分」であるが、

びっしり「遊びに行く予定が入っているようである。」

考えただけでも、頭が痛く、「日本へ帰りたくなーい。」って思ってしまう。

そういえば、どなたか、ディズニーランドの安いチケットを手に入れる方法をご存知の方、教えてください。（1日パスポートで）

ストレスな平日

2007,3,1



昨夜、田舎にある非常に高級な日本食屋で食事した。
定食2人前と、ビール2本で、1200パーツだった。
食べた後で、後悔しちゃうんだけど、食べたかったのだから、仕方ない。

最近、友人にも、ストレスが溜まっているんじゃないの？って言われる。
田舎生活も、限界かなーなんて思うときもある。

1年目・・・こんな場所もあるんだーって感動。従業員も少なく、村を自由に出歩く。
セブンイレブンもない場所に住んでいることを自慢する。

2年目・・・従業員が多くなり、活動可能範囲も、かなり限定される。
それでも、行きつけの店で、毎日、浴びるほど飲む。

3年目・・・従業員があちこちに住んでいるので、家から一步も出られない生活となる。
何処にも行けないというのは、ストレスが溜まる。
平日は、仕事だけの生活。
パタヤに帰る週末だけをひたすら指折り数える。
監禁生活。但し、超高級な日本食屋と給料日前の2-3日は、割と自由に出歩く。

犯罪者のような生活のような気もするが、5時起きは嫌だし・・・複雑ですね。
村一番の高級アパートに住んでいるが、せめて、フィットネスルームでもあればなーって思う。

1階にもう一部屋借りて、ランニングマシンでも置こうかなーって考えちゃいますね。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

久々だから、日本のことから

2007,4,25



ようやく通常生活になった気がする。

日本行き・・・その後、親と一緒に帰国・・・ソクラーンの休みというのは、タイだけの話で、日本は通常稼働。

仕事の慌しさと親の面倒で驚くほどのスケジュール。

確かに、毎日のように、豪華食事をし、スタミナたっぷりだったが、忙しさを考えると、疲労の方がはるかに上である。

まずは、日本のこと。

今年は、ディズニーランド・原宿・新宿・富士山というのが、主な観光地。
課長代理の女性部下とダムさんと3人の旅。

ディズニーランドの感想は、タイ人曰く「幼稚だ・・・」って。

確かに、ぬいぐるみが出てきたり、ミッキーの耳の帽子？をかぶった親子連れを見ると、「果たして、大人の遊び場か？」という疑問もある。

僕自身は、10年以上振りの訪問だったが、結構楽しかった。

原宿・新宿は、洋服を買うことが、主な目的。

僕は、無印用品を買い込んだ。(品質が良さそうだったからである。)

事実、制服の下に着用する白いTシャツは、非常に涼しく、お気に入り。

もっといっぱい買ってくれば良かったと後悔。

一番の感動は、富士山(プーカーウ・フジ)だったようだ。

丁度、晴天で、非常に綺麗に見えたこと。
また、雪は、タイ人にとって、一番の感動である。

食事に関して、今回分かったこと。
タイ人と日本に行った場合、「コテコテの日本料理」「酒のつまみの料理」は、無理である。
つまり、「まぐろ(イカ)納豆」「イカの塩辛」「チャンジャ」「うなぎ」「いくら」は、駄目。

ステーキやハンバーグなら・・・と思ったが、和風おろしハンバーグだったからか、駄目。
ステーキと共に、何とか食べられるのは、「焼肉」だった。
日本滞在中、2回も焼肉を食べた。
タイ人は、「何とか食べられる料理」であるが、僕は、「日本の焼肉(牛肉)って、こんなに美味しいんだ。」と感動。ちなみに、タイでは、牛肉は、硬くてあまり美味しい食べ物ではない。

ちなみに、帰国後、焼肉の味が忘れられず、韓国料理に行った。
肉が、1品400パーツぐらいで、スープやビビンバが200パーツぐらい。
はっきり言って、タイの物価からすると「高め」だと思った。
そしたら、「付けあわせ」が、7品ぐらい出てくるし、1人前(いや、1皿)の量が多いのなんのって、驚き。
2皿しか頼んでいないのに、半分は、残す羽目に。

日本との違いを実感。

日本の話に戻ります。
日本で買い物したものといえば、やはり、洋服です。
前述したように、無印用品。
そして、友人に安いよって教えられた「しまむら」
パジャマとして家の中で着用するトランクスを大量購入。
だって、タイで買った場合、(当然、部屋着であるから、ロータスの安物だが)ゴムは、ビローンだし、糸くずはいっぱいだし・・・
あっ、最大の恥ずかしいこと・・・四捨五入して40の人間が、「ディズニーランドの記念品」と思って、ミッキーのパンツを購入してしまった。
ディズニーランドで買い物しているときは、何とも思わなかったが、家に帰ってきてから、急にいい年して・・・って、恥ずかしくなった。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





O-net 楽天 楽天スーパーポイント 10,000 ポイント 結婚力診断

tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17  初めて来ました
- 2009,5,16  スニーの生活パターン
- 2009,5,11  税金UP
- 2009,5,10  ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9  ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8  ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

 解散判決2007,5,31 

タイ国政情が不気味である。
 何日も前から、知っていたが、裁判所が、政党へ解散命令（解党命令）を下したようだ。
 一説には、タイ愛国党（前タクシン政権）と民主党の2大政党に共に解散命令が出されるという話もあったが、結局は、前タクシン首相のタイ愛国党の111名の政治家が、5年間、政治活動ができなくなったという判決だったようだ。

デモや集会が予定されており、バンコクには、近づかないように・・・という情報もあったが、何とか、大きな混乱は起きていないようだ。

それにしても、昨年のクーデター以来、本当に、政情が不安定だと思う。
 政治の不安感 経済の低迷 あらゆるところへの不満・・・という感じがしてならない。

田舎生活、こういう時は、他人事と思えるのが、ありがたい。

 もう一丁・・・を決めた2007,5,29 

コンドをもう一部屋購入することに決めた。
「えーっ、金持ちーっ」って思われるかもしれない。
とんでもない。
コンドとは、名ばかりで、安アパートという感じの部屋。
自分で住むという前提ではなく、タイ人に貸すと言う前提。
仮に、タイ人に賃貸した場合、「月に2000バーツちょっと」と言うのが、相場。
この値段を聞くと、「買値も想像できるであろう。」

何でまた、そんな古いアパートを買うの?と聞かれたら、次のように答える。

- 1.高級コンドは、借主を探すのが大変だが、安アパートだと、稼働率は高い。
- 2.中古物件が下がらないタイの相場を考えると、家賃収入分が、利息と考えられる。
- 3.何と言っても、迷わず買える金額である。
- 4.スニーが近いので、ひょっとして、部屋に使うかもしれない。

ダムさん名義で、購入する。
この金額では、外貨送金証明書(トートー3)も面倒くさいと思う値段。

そもそも、知り合いで、この手の方法で、かなりの家賃収入を得ている人と会って、影響されたのが、そもそものきっかけ。

確かに、100万バーツのコンドを買うより、20万バーツの部屋を5部屋買い、タイ人に2000バーツで貸して、月に1万バーツのお金を得るというのも悪くない。
「塵も積もれば・・・」の方法である。
100ヶ月で、元金の元が取れる。

最近、早期リタイヤばかり考えている。
もちろん、長い年月をかけて考えていくことだが、リタイヤする条件として、「働かなくても、資産を廻して、収入がある。」というのが、条件であろうと思う。
もちろん、年金を貰えれば、一番、良いのだが、そこまで、待てるわけもない。

こんな調子で、せこく、「働かなくても、収入がある財産を作る。」ことをやれば、意外に早く、「遊んで暮らす日」が待っているかもしれない。

まあ、「遊んで暮らす日」というのは、大げさとしても、「趣味程度の仕事」「給料は、安くて良いから、楽な仕事」「薄給料・薄責任の仕事」ができる日が早く着て欲しいと思う。



休みがある程度の忙しさ

2007,5,24



忙しい・・・の一言に尽きる。
しかし、日本で働くサラリーマンより楽かもしれない。
だって、休みは、ちゃんと休む。
よく「終電の時間まで仕事をしている。」と聞くと、それほどではない。
残業といっても、2-3時間程度なら、「可愛い残業時間」かもしれない。
まあ、これだけ、お金を頂いていたら、文句を言いたくても無理である。

平日は、仕事・・・休みはパタヤ・・・というメリハリがしっかり付いているので、ニュースや情報に非常に疎くなっている気がします。

それと共に、話題が全くない平々凡々の生活である。

早期リタイヤばかり考えてしまうが、いくら、タイの物価が安いといっても、宝くじでも当たらない限り、リタイヤなんて無理である。

リタイヤといえば、パタヤには、定年前リタイヤで、パタヤ在住者もいる。

日本人の55歳といえば、本当に若い。

リタイヤ生活をしている人と、話をする機会もあるが、「今、楽したら、後がしんどいよ」「逆に、今、苦労したら（がんばったら）、後が楽だよー。」と言われた。

その言葉が、妙に頭から離れない。



狭い世界のような気がする

2007,5,23



パタヤの休日・・・お決まりコース

美味しい食事、フィットネス、お仲間ビーチ、マッサージ・・・実は、すごく狭い世界で生きている。行く場所も決まっているし、友人も限られている。

そりゃ、スニーに行けば、入れ替わりがたくさんあるが、それは、それ。

なんだか、活動範囲・行動範囲が妙に狭いような気がしてならないのが、今の悩み



誘惑の電話

2007,5,21



人材派遣会社から、電話があった。

「友人で、仕事を探している人は、いませんか？」という電話である。

その人は、良く知っている人だから、はっきり「　　さんは、（僕のこと）動かないですよね。」って言いながらも、「友人で、こんな条件の人を探しているんだけど・・・」って言うわけです。

その条件が、僕に、ピッタリだったりするんで、「何処ですか？」とか「給料条件は？」なんて、思わず、言ってしまいそうになるが、そこは、我慢。

相手の罠にはまってしまう。

この手の電話があると、「今、籠の中の鳥です。」と言っている。

籠の中から、抜け出したい気持ちはあるが、抜けられない・逃げられない。

その理由は、僕の場合、「金銭的条件である。」

綺麗事を言わず、「今の所は、経済条件が、良いから辞められないです。」って言うと、人材派遣会社も何もいえない。何故なら、今以上の、経済条件の会社を紹介できないからである。まあ、選択肢があって悩むのも困るが、選択肢がないと言うのも、悩みがなくて、良いものかもしれない。



永久会員

2007,5,8



これまでも、週に1回は、ジムで運動するようにしていた。
 パタヤは、フィットネスが結構ある。
 最初は、ボーイズタウンのBOYS BOYSBOYSの真ん前のジムに通っていた。
 サウナが暑いし、人は少ないし、水風呂があることが魅力だったが、ジム器具が売りに出されたので、通うのを止めた。

それから、サウスパタヤのスニーからサーイ・サームに抜けた所のジムに通っていた。
 土日しか行く機会がないから、月会員にはならず、1回150バーツを支払っていた。

ところが、トニーフィットネスで永久会員が1万5千バーツと聞いた。
 15000バーツといえば、日本円で4万円ちょっと。
 永久会員＝一生使えて、この値段は、徳だと日本人なら誰でも思うはず。

一方、来月、つぶれるんじゃないのーって不安も・・・

でも、1万5千バーツで24Hオープンなら、やはり、安いと思う。
 しかも、パタヤの何処の支店でも利用できる。

二人で、3万バーツ支払って、永久会員になった。

この魅力は、プールサイドに大きなTVがあり、TVを見ながら、歩けること。

日本人なら、やはり、「来月、オーナーが夜逃げして、倒産する。」って思うよね。
 まあ、そうなる前に、一生懸命通いましょう！



健康診断でひっかかった

2007,5,7



健康診断で、ひっかかってしまった。
 尿酸値が、7.3という数値。
 医師から、動物性タンパクを食べるのを控えるように指示。
 後で、分かったことだが、ビールが一番いけないらしい。
 そりゃ、そうだ。
 あれだけ、浴びるほど飲み続けていたのだから・・・肝臓が元気なのが不思議なくらいである。
 ビールの量を、一気に減らした。
 何も無い日は、飲まなかったり、飲んでも、缶ビール3本くらい。
 その結果、最近、便秘気味であること（水分が、足りないからか？）
 寝つきが悪いことが心配事。

酒が入っていないと、寝付けない身体になってしまっているのだ。
 まあ、これを機会に、健康志向になりましょう。



シンガポール

2007,5,6



シンガポールに2泊3泊で行ってきた。
 バンコクから、丁度、2時間の距離。
 チャンギ空港から市内までは、30分ほどなので、便利な国。
 食べ物は、美味しい。
 多民族国家にふさわしく、中華・韓国・インド・西洋・日本・・・あらゆる国の料理が食べられる国である。
 僕は、豆腐ソバがお気に入りである。
 豆腐・厚揚げ・ミンチ状にしたものを野菜にはさんだり、豆腐麺と言っても、具の種類は豊富である。

物価は、日本の7-8割ぐらいかな？
 タイから行くと、「随分、高価な物を持っている」という印象。
 洋服・カバン・時計・装飾品・・・身につけているものは、それなりの品質の物であることを実感する。

社用でいったのだが、個人的に言えば、今回は2度目。
 可愛い子も居ないから、「二度と来ることはあるまい」と思っていたが、2度目の訪問となってしまった。
 普段、車から車の生活なので、久々に、地下鉄に乗り、階段を使い、「歩きつかれた」というのが、印象。

タイに戻ってきたとき、心底、ほっとした。

 singapore

2007,5,3



i stay in singapore,now.
 i come to singapore for business.
 yesterday i go to gay sauna;one seven.
 it take a entrance charge 17 SGD.

singapore, it have chaenese foods, korean foods, indian foods and so on.
 i eat chenese noodle every day.

happy time(^^)

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

屈辱連発

2007,6,24



久々の屈辱。

酔っ払って、いつものマッサージ用のボーイを連れて帰った。

マッサージ用というのは、そいつが、元々、ちゃんとしたマッサージの学校を出ていて、古式マッサージ店でも働いたことがある人間。

今は、バービアでファラン相手に働いている。

結構、頻繁に連れて帰ったことがあるが、古式マッサージだけして帰るというパターンばかりだった。

ところが、酒が廻って、うっかり、ウトウトしてしまった。

気持ちよさで、目が覚めたら、全裸にされ、パッキリ銜えられていた。

あまりのテクに、しばらく続けてもらったが、やはり、30過ぎの奴でいったらあかんと思って、途中で止めてもらった。

しかし、勝手にやったこととはいえ、スペシャルサービスをしてもらったので、黙って、500パーツ渡した。

30過ぎの奴に舐められ、屈辱。

たまには、盲人マッサージ以外のマッサージに行こうと思い、全くの一見客として入店。

薄暗い部屋に通されて、着替えて、マッサージ開始。

若い感じのお姉ちゃんが登場し、マッサージ開始。

結構気持ちよくて、ついつい、マッサージされながら、股間を大きくしてしまった。

まさかのことだが、古式マッサージをしている手が、徐々に、股間マッサージに変わっていく。

いくらなんでも、女性の手で、仰天するのも、ゲイとしては、恥ずかしい。

考えているうちに、手は、パンツの中に入ってきて、モロに股間マッサージが始まった。

断る決心をし、手で払いのけて、「このマッサージは結構。」という意思表示。
1時間100パーツのマッサージx2時間で200パーツというのが、マッサージ料金であるが、若いお姉ちゃんが股間を5分ほどマッサージしてくれた・・・ということで、帰り際に100パーツ渡した。
あのまま、もし、抜いていたとしたら、いくらぐらい渡すのかな-----なんて思いながら店を出た。
それにしても、性の街パタヤ・・・勝手に刺激して、「抜いたから、ほら、お金払いなさい。」という商売が多い気がする。

古式マッサージ・・・油断ならぬ。



パタヤマラソンに出る？

2007,6,22



パタヤマラソンに出場しようかと思っている。
フルマラソン・ハーフマラソン・クォーターとある。
四分の1なら、10キロちょっと・・・何の準備もなくとも、鍛錬していなくても、走れるような気もする。

10キロと言えば、歩いて2時間ちょっとだから、走れば、1時間ぐらいたと勝手に思う。
ジムでエアロビを1時間やったという程度の運動量ではないか？と勝手に考えている。

友人に、「何で、出場するの？」って聞かれて、返答に困ってしまう。
「何となく出たいと思ったから」「思いつき」以外に回答がない。
格好良く「歳の記念に・・・」と言いたいところだが・・・

7月15日が、パタヤマラソン当日。
フルマラソンは、4時半スタート。
10キロは、5時半スタートだった気がする。
まあ、記念のTシャツを頂くために、参加するという程度としよう。



危険な国

2007,6,19



仕事は、割合と落ち着いている気がする。
程ほどの忙しさの日々は、久しぶりの気がする
平和と言うのは、良いことである。

新聞を読んだら、タイは、「平和な国」の順位が、100位以下であった。
約120の国の順位であるから、かなりどん尻である。
ちなみに、イラクが最下位。

南部では、毎日のようにテロ・爆発・死傷者が発生しているが、
同じタイ国内で起こっているとは、誰も考えておらず。
確かに、統計上は、タイで爆発が毎日のように発生する国ということで、「安全な国ランキング？」では、下位にランキング。

それ以外にも、クーデターや、デモ集会を考えたら、やっぱり安全な国ではない。
住んでいる人間からすると、「危険を何も感じていない。」というのは、非常に不思議であ



悩む

2007,6,18



久しぶりにバンコク時代の友人に電話した。
懐かしい声と共に、何か悩んでいるような感じ。
「来年、日本に帰ろうと思って・・・」とう声が、ボソッとあった。
「将来が不安だから」というのが、その理由。

全く同じとは、言わないが、僕と彼のパターンは似ている。
学校を出た後、しばらく働き、小銭を貯めた。
30前後で、日本を離れ、タイで生活する決意をし、来タイ。
しばらく遊んだが（実際は、学校に行ったと言いましょうか）タイで仕事を見つけて働いている・・・というパターンである。

「現地採用組」と言われる人間の大部分は、このような感じである。
お互いにそうだが、来たばかりの頃は、「先の不安」など考えもしなかった。

サウナやディスコの話・・・タイやタイ人の話で朝まで騒いでいたこともあった。
「年取ったら、どうするの？」という質問に関しては、「あなたこそ、年取ったらどうするの？」と言いたかった。
マイノリティーを指して、非難しているとしか思えなかった。
しかし、40歳を目の前にして、「先のこと」を良く考えている。
確かに、「先のこと」は、非常に大事であるし、「将来を不安に思う。」という気持ちも良く理解できる。

タイで生活する = 外国人であり、やはり色々なことを考えざるを得ない。
どれだけ税金を払おうが、見返りはあまり期待もできない。
豊かな時は、「いらっしゃい」だが、丸裸になったら「国へ帰ってくれ。」というのが、現実であろう。
（当たり前な気もする。）
外国人であれば、ビザの問題を避けて通ることはできない。
日本に居る時には、考えもしない面倒なことである。

先が不安・・・タイ在住者というか、海外在住者は、そう考えるのも当然のような気がする。

僕の場合、「早期リタイヤするには、どうしたら良いか？」ということばかり考えている。
いかに早く「仕事をしなくても食べていける生活」「店番程度の仕事で、収入があれば・・・」などと「世の中の厳しさを舐めた発想をしている。」

日本で働いていれば、「年金」という大きなお土産がある。
若い頃は、「何十年先のお金」に興味もなく、真実味もなかった。
さすがにこの年になると「何十年先のお金」ではあるが、「現実的なもの」と思えてくる。

友達に感化されたのか？しばし色々なことを考えている。
ちょっと、自分の資産を分析してみた。
東京の部屋の家賃収入・・・この前購入したオンボロアパートを貸したら・・・今住んでいるパタヤのコンドを貸したら・・・とりあえず、仕事をしなくても、タイで、食べていけるかもしれない。
しかし、どこも遊びに出れずに、袋に入ったご飯を食べ続けるという前提である。
「そんな生活をするくらいなら、日本に帰る。」よなーって思った。

当たりの事だが、「まだまだ、働かなければならない。」のである。
先が不安だと思い、日本へ帰る・・・それも、選択肢の一つかもしれない。
どこで働いても、仕事をし、収入を得る以上、大変なことには変わらないと思う。
そう考えると、僕の場合、今の生活が、良いんじゃないのーって思った。



NHKで松田聖子をTVで見た。
何年ぶりかで見る松田聖子・・・NHKで見る松田聖子に驚き。

中味は、デビュー27周年のドキュメント。
「女性に圧倒的な支持をされ続ける松田聖子の生き方」と趣旨だ。
確かに、45歳、松田聖子・・・すごいパワーだと思う。
娘の年齢を考えれば、「おばさん」であるはずの年齢。
今、輝いている。

そういえば、昨年の大晦日の紅白のDVDを見た時に、今井美樹にも驚いた。
二人とも、「確かに、老けたと思うが、きれいである。」

もちろん、僕が、小学生の時のアイドルだから、何歳も年上である。
芸能人って、パワフルだなーって思った。
どうしたら、老けないか・・・「人に見られる仕事をする。」というのが、結構当たっているかもしれ
ない。

一般人（自分）は、人に見られるということに全く無関係であるから、どんどんお腹周りに脂肪が付いて
いく。（ただの食べすぎの言い訳ですな。）

労働組合

2007,6,12 

労働組合の問題が、顕著化している。
日本も、過去には、労働組合が過激であった時代があると聞く。
しかし、最近は、過激な行動には出ない気がする。
会社に要求・権利主張することは、間違っているとは思わないが、結果として、会社の損益が増大し、赤
になり、倒産したら、職を失うことになってしまう。
タイの場合、外資系が多く、赤でも海外親会社がしばらくは補填してくれる・・・という傾向が強い気が
する。（我が社だけか？）
それに、転職が自由な国だからこそ、「会社がつぶれたら、法律に則って、自己退職では支払われない補
償金を貰って、辞めて、次の職を探せば良いと考えている気もする。」まあ、正直言えば、要求する方
は、そこまで、深く、考えていないというのが、本当の所であろう。
団地の中でも、今年に入って、労働組合ができたのは、5社目である。
年間、10社ペースで労働組合ができるというのは、すごいスピードだと思う。

経営の話が分からない人と、交渉するのは、大変であるという。
「（他社）は、夜勤手当が、100バーツだから、我が社も100バーツを要求する。」ってな具合だか
ら、困る。
それぞれの会社の事情など考えずに、「知り合いの会社がこうだから・・・こうしてくれ。」という発
想だし、上を見ればキリがないと同様に、下を見てもキリがないという考えはなく、良いところだけ
を見て、「こうあるべきだ」という風潮である。

まあ、今のところ、自分には、関係のないことであるが、先を考えると頭も痛い。

早く、ある一定のお金を貯め、サラリーマン生活を辞められる日が来ることを祈ってばかりいる。



コンドを購入した。

今回は、ダムさん名義なので、話が早い。

IDカードとタビアン・バーン（居住証明書）のコピーとお金だけが用意するもの。

外貨送金証明が不要と言うのは、すごく簡単である。

ダムさん名義であるから、僕は、土地局には行かない。何もしない。

つまり、お金を出すだけの人。

「安い」と言っても、さすがに、十萬バーツはする。

お金を下ろしに行ったら、スーパーの中に、入居している銀行店舗では、1店舗で10万バーツまでしか下ろせないとの事。

仕方なく、カルフル支店・ビックC支店・・・と銀行巡り。

日本人の感覚からすると、銀行（一応、窓口）で10万バーツしか下ろせないというのは、何とも少なすぎる気がする。

それでも、土日の場合、支店が閉まっているから、仕方が無い。

銀行のはしごである。

一応、安い部屋と言えども、土地の権利書も去年買ったコンドと同じである。

この値段の物件・この築年数なのに、「まだ、銀行の抵当付き」今回も、前回同様、銀行支払分のキャッシャーチェックを準備し、残金は、売主へ・・・現金。

当然、借りている人が居て、「賃貸人は、どうするのか？」と事務所に聞いたら、「あなたが使うんだったら、出て行ってもらうわよ。別の部屋を紹介すれば良いだけだから・・・」との事。日本的に考えれば、「賃借権」とか「居住権」とかうるさいことになりそうだけど、「タイだから、そんなもんかなー。」って思う。

「家賃だけは、今日の分から、僕の口座に入れるように・・・」って念を押しといた。

ちなみに、自分で住むという選択肢は、あまりに少なく、改装の為に、出て行ってもらうように、依頼した。

ひょっとして、改装が大成功して、僕が住んでも構わないと思えるような部屋になったとしたら、住むかもしれない。

そもそも、土日しか使わないので、今のコンドは、もったいないと思っていた。

月に6日程度なら、安コンドで我慢するという選択肢も当然ある。

駐在員・・・平日は、セブンイレブンもないど田舎生活・・・週末は、古く狭いコンドに居るとするのは、結構笑える話かもしれない。

そういえば、「買う前に、念のために部屋を見たい」と部屋を見に行ったら、「はい、これが鍵」って事務所の人に渡されて見に行ったら、5分前に、丁度、出て行ったのではないかと・・・というような部屋だった。

部屋というのは、「プライバシーな空間」という意識は、この国には、ないようだ。

そういえば、この部屋にだって、平気で4-5人住んでいるのだから・・・プライバシー空間という考え方自体が、間違っているのかもしれない。

今回、試しに買って見て、ちゃんと家賃収入が望めそうならば、日本に帰った時に、外貨送金し、SALEと書いてある部屋に片っ端から電話し、「　　パーツなら、来週にでも買います。」って言って廻りたいと思うが・・・

今回、初めて、ダムさん名義で購入することになった。

タイ人名義で、財産を買っている話を聞くと、「今に、丸裸にされちゃうよー。」「裏切られるよー。」って思っていた。

今の気持ちは、「さすがに、ダムさんも、将来を考えた損得勘定は、できるだろう。」と思っている。

そもそも、これが欲しい為に、何をやっても良いが、失うものは、このコンドを得る何倍もの損害になるだろう。

まあ、タイで幸せに暮らせているのは、ダムさんのお陰なので、そのお礼だと思っています。



お金の扱い方

2007,6,10



タイ人のお金に関する扱いに疑問を感じる。

ご存知の通り、タイのお札は、王様の顔が印刷されており、その為、表と裏を気にする人が多い。

表・裏の順序がバラバラのまま、レジの子に渡したら、きちんと並べなおしている時もある。

そんな大事なはずのお札だが、タイ人は、平気でお札に数字を書くし、今日は、ホッチキスで留めていた。

数字を書くというのは、会社のお金で数を数えた場合に、一番上に「何枚」という意味で、数字を書く。その人だけの個性だと思うが、10枚以上ある場合は、輪ゴムで留めてくるが、数枚程度だったら、パチンとホッチキスで留めてくるのである。

これには、驚かされる。

だって、日本で、お札をホッチキスで留めるなどという行為を見たことも聞いたことも無いからである。

何年たっても、意外なことに出くわす国じゃのー。



生活改善

2007,6,9



尿酸値が高いと言われたお陰で、見事にアルコール減らしができています。

そりゃ、「前が異常」であったと思う。

「浴びるほど飲む。」という言葉がピッタリだった。

毎日、アルコールの入らない日が無いという生活を何年か続けた気がする。

今は、「休肝日」も多い。

部屋で一人で飲む日も、減ってきていると思う。

ソーダー・マナーオ（レモン）を飲んでいるので、ビタミンCもたっぷりである。

飲まない日は、寝つきが悪い日もあった。

しかし、最近は、慣れてきたと思う。

体調・その他、変わったことは、次の通りである。

便秘気味になってきている。水分が足りないせいかな？逆に、浴びるほど飲んでいた時は、便秘の逆であったが・・・

睡眠時間が増えた・・・酒を飲んで寝ると、熟睡ができる。しかし、アルコールを飲まないで寝た場合、寝つきも悪いし、浅い眠りのような気がする。その結果、睡眠時間が長くなった。

思ったより、体重は減らない。お腹の贅肉は、ビールだけのせいではなかったようだ。

お金が減らない・・・タイでは、食費より、飲み物代が高いと思う。特にアルコール飲料は、高い。そりゃ、日本と比べれば・・・安いけど、タイの物価からすると贅沢品である。ハイネケン（大瓶）1本で、ラーメンが3杯くらい食べれるのだから。今更、安くて、頭の痛くなるビア・チャーンを飲むと言うのも、選択肢としてはない。昔は、大瓶3本100バーツとか言って、買ってきて飲んでいたが、今じゃ、ダムさんすら飲まない。

まあ、生活改善ができつつあり、ありがたいことだと思っている。



夢は、捨てていない

2007,6,7



盲人マッサージを開業する夢に関して、最近、書いていない。
諦めたわけでも忘れた訳でも気が変わったわけでもない。
但し、もうしばらくは、「貯金する期間」だと思っているので、特に活動はしていない。
マッサージ店開業にあたり、マッサージ師の免許くらいは、欲しいと思っている。
別に、オーナーである僕が、お客様に対して、1時間150パーツでマッサージしようとも思わないし、
毎日揉んでいるプロのマッサージ師より下手くそなのは、目に見えている。
しかし、オーナーが、タイマッサージの基礎も何も知らないというのも悔しい。
タイ政府発行のマッサージ師の免状が飾ってあるだけでも格好がつく・・・とも思う。

調べてみると、バンコク・チェンマイには、日本人用（日本語対応）のマッサージスクールがいくつかある。
ワット・ポー・マッサージスクール・スクンビット校が、一番有名なのではないかと思う。
それ以外にも、意外とタイ・マッサージを日本人用に教える学校は多い。

ネットでいくつかの学校を見てみたが、大体は30時間で12000パーツ程度の授業料である。
30時間で、マッサージ師の免許とは、いかにも時間が短い気がするが、タイなので、「こんなものかな
ー。 」とも考える。
30時間ということは、1日6時間平均で勉強した場合、丁度5日間である。
旅行者であっても、十分に受講可能な期間である。

今は、ちょっと忙しいが、秋くらいに有給を取得して、1週間、バンコクに泊まって、マッサージ学校の
30時間コースを受講・・・というのが、僕の考えである。
ひょっとしたら、旅行ついでに「チェンマイのマッサージ学校」という選択肢もありえるかもしれない。

それにしても、何校か、日本人対象のタイマッサージの学校があるのだが、「どんな日本人が、勉強しに
くるのか？」が、知りたい。
僕のように、「マッサージ店を開業したい。」と考えているのか、「タイマッサージが、あまりに気持ち
良く、学んでみたいと思った。」のか「駐在妻のカルチャースクール」なのか・・・
それにしても、バンコクには、日本人相手の、ありとあらゆる商売が出尽くしているんだなーって思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

慣れない海外

2007,7,26



海外に縁のない人が、日本から派遣されてくる場合がある。

「駐在員」という人たちである。

商社や物流業界は、まさに、海外勤務が当たり前の人たちである。

外国（外地）で働くと言うことは、どういふことかを良く知っている人たちではないだろうか。

ところが、外国に縁もなにも無い人が、突然、業務命令で、赴任してくる場合がある。

これは、恐ろしいことである。

業務命令を出す立場の人は、海外によく行っているが、「空港まで送迎車と共に、現地駐在員がお出迎えし」「一流ホテルに宿泊し」「短期間の滞在後、帰る」人たちである。

「生活感」など全くなくなるのである。

「タイに行って来い。」の一言だから、命令する方は、楽である。

実際に、命令を受ける方が、日本から一步も出たことがない人で、突然、社命で駐在すると、本当に大変である。

本人も大変だが、周りも大変である。

タイ語はもちろん、英語も全く駄目。

言葉が全く通じなければ、さすがに一人で動くことができない。

サインをお願いすれば、「これは、英語で書くの？日本語で書くの？」と質問される。

サインの意味を説明するところから始めなければならない。

居・食・住という言葉があるが、とりあえず、衣は、問題ないとして、食は、アパートの中のレストランで済ませ、居は、会社が用意する。

しかし、それだけでは、終わるわけは無く、細かな生活上の用事がいっぱい発生する。

ズボンをすそ上げしたい。
クレジットカードを作りたい・・・等、色々な生活上のちょっとしたことが出てくる。
当然、一人でできるはずもなく、誰かに頼るわけである。

仕事といえば、それまでだが、6年も住んでいて、「当たり前」をいちいち質問されるのには、困惑する。

まさか・・・

2007,7,25 

健康診断で、尿酸値が高いという指摘後、できるだけビールは控えてきた。
ところが、最近、徐々に酒の量が戻ってきていた。
1日に大瓶2-3本・・・これが、平均。

昨夜、夜中に、足の親指の痛みで目が覚める。
何処が痛いと言うか、親指の間接の中がチクチク痛む気がした。

これって、ネットで見た典型的な痛風症状だーってハタと気づく。

ついに・・・来てしまったという感じで、眠れなくなった。
昨夜は、4時間ほどしか寝ていない。

ただの気のせいか？もしくは、本当に痛風症状か？

怖いから、来月にでも、再検診に行こう。
尿酸値が、下がっているといいが、下がるという因子は全く見当たらない(笑)

タイの治安

2007,7,24 

田舎に住んでいるので、全く持って治安が良いとか悪いとか関係ない。
バンコクと地方では、こうも違うものかと思う。

さて、日曜日に、またまたデモがあったようだ。

「反軍事政権」のデモらしい。

1年前は、「反タクシン」

で・・・軍事政権になったら、「反対」

結局、何が良いのさ・・・って言いたくなる。

まあ、軍事政権・・・経済政策が弱いのは、当たり前である。

それにしても、デモだとか、クーデターだとか、軍事政権だとか、南部での毎日発生する爆発なんて考えると、とてもまともな国ではないような気がする。

でも、関係なく田舎に住んでいる自分が不思議である。

老化現象

2007,7,23 

パタヤマラソン10KM楽勝完走に気を良くして、来年はハーフマラソンにでも挑戦するかなんて、馬鹿なことを考え、TONYフィットネスでランニングマシン相手に3KM走った。

ひざの痛みを感じて中止。

その後、夜になって、段々と悪化。

歩けない・・・足を引きずってあるく状態。

エーーーー嘘だろーーーーって、自分の身体を疑った。

老人が、「ひざが痛くて・・・」なんて言っている光景がふと浮かぶ。

幸いなことに、一晩で完治。

しかし、原因は不明。

なんか、しばらく動かしていないのに、油もささずに急に動かしたことが原因である気がするが、老化を感じる。



ぶっかけがうまい

2007,7,22



タイ食 日本食とマイブームがある一定の周期で変わる気がする。

日本食も、たまに食べれば美味しいが、なぜか物足りなさも感じるときもある。

そりゃ、パワフルに調味料を入れ、にんにくと味の素でダメ押しをしたタイ料理は、美味しいに決まっている。

その究極が、ぶっかけ飯のような気がする。

人によっては、「猫マンマ」と称する人も居るが、個人的には、好きである。

「安くて、上手い」のである。

考えてみれば、日本人だって、どんぶりものが好きなはず。

吉野家の牛丼、天井、カレーライス・・・ぶっ掛け飯と同じようなものである。

日曜日にパタヤでぶっ掛け飯を食べる時もあるが、さすがに、「週末ぐらい美味しいものを食べたい」とも思う。

でも、飽きないんだよね。



選択できず

2007,7,17



「二頭を追うもの一頭も得ず。」ということわざがあったように思う。

まさに、その状態。

ボロコンドは、10日間のリフォーム期間と4万パーツの内装費を費やし、小綺麗な部屋になった。

工事前を知る人間にとっては、たったの4万パーツで、こんなにも小綺麗になるものかと実感。

で、問題なのは、他人に貸すのがもったいと思うようになった。

自分で住むという選択肢もあるとは思う。

どうせ、土日しか居ないわけだし・・・しかし、コンド全体に、カビっぽいというか、何とも言えない匂いが充満しているボロコンド、「せっかくの週末・・・快適な暮らしがしたい。」というわがままもアル。

「人に貸すのがもったいない。」と言う意味は、ここを賃貸する人の階層を見たり、隣近所の人たちの生活を見ると、「綺麗に住んでくれるとは、絶対に思えない。」というのが、正直なところである。

それに、どんなに綺麗に内装をしても、コンド全体の相場からすると、大体の予想はつく。

高く賃貸したいというより、「高い家賃を払えるレベルの人に貸したい。」というのが、本音かもしれない。

今の今も、「週末だけだし、ボロコンドで我慢して、ジヨムティアンの方は、人に貸すか売るかしようか

な。」って考えと

「最初の予定通りボロコンドを人に貸して、毎月、一定の収入を得ようかな。」という考えと色々と考えています。

実は、「やり部屋」として貸し出そうかという案もあるが、数百パーツの為に、鍵の受け渡しやシーツ交換をするのも面倒だ。

自分のやり部屋にするには、使用頻度が低すぎる。

ホテルのほうが、経済的である。

丁度、14日の土曜日に内装が95%出来上がっていた。

今週の日曜日は、100%出来上がっているのは、確実であると思う。

内装の次は、家具購入だが、これも、人に貸すか、自分で住むかで大きく違う。

このまま、はっきりとした決断のないまま、ずるずると金を注ぎ込むのも馬鹿馬鹿しい。

でも、決められない。

僕は、何でも「エイヤ」で決断できるタイプの間人だと思ってきたが、優柔不断な一面もあるんだなーって思った。



7月15日に参加したよ。

2007,7,16



パタヤマラソンに参加した。

と言っても、10KMのミニマラソン

そりゃ、いきなり、42.5KMなんて、無理に決まっている。

ネットで申し込むと、20USドルの参加料。

前日に、会場で申し込めば、300バーツ。

この辺が、いかにも不思議で、外国人でも、前日に、会場で直接申し込めば、300バーツである。

前日の申し込み時に、記念Tシャツをゲット。

Tシャツにパタヤマラソンとしっかり書いてあるし、王様の60周年在位と80歳を記念する黄色のTシャツであった。

Tシャツに関してだが、汗を一切吸わないナイロン生地 of Tシャツである。

洗濯後、あっという間に乾くのが、非常に良いが、汗を一切吸わないので、大嫌いの生地。

まあ、記念品だから・・・「良し」としよう。

記念品が手に入ったので、当日は、行かなくてもいいかなーなんて考えたりした。

なんせ、5時半スタートだって・・・北パタヤのソイ4まで行くには、4時過ぎには起きなきゃいけない。

休みに日に、何が悲しくて、4時に起きなきゃいけないのかと思う。

前夜は、いつも通り、アルコール漬け。

友人に「早く帰らないと・・・」と急かされて、帰宅したのが10時過ぎ。

何とか、朝4時10分に起きて、シャワーを急いで浴びて、会場へ・・・

10キロミニマラソン・・・予想を超える人ばかり。

朝5時に、こんなに人が集まるとは・・・と驚き。

無料マッサージもあったが、無料だけあって、人が殺到し、とてもサービスを受けられる状況ではない。

5時半きっかりスタート。

ビーチ通りソイ4を出発し、北パタヤを抜け、スクンビットを走り抜ける。

セントラル通りを過ぎて、南パタヤ直前で引き返し、セントラルパタヤからビーチロードを得て、到着地点まで戻るといったコース。

えー、こんな爺さんに抜かされるのーって、思う場面も、多々あり。どう考えても、成人病の塊のような体つきの人に追い抜かされるのは、悔しかったが、「競争じゃない。完走することに意義がある。」と心の中で考えていた。

給水所で、格好良く、走りながら水を取って、コップを沿道に投げて・・・マラソン中継では、このようなシーンだったと思う。

実際は、給水所到着の度に、歩いて、ゆっくり水を飲み、一息入れて、また走り出すと言う感じ。

明け方のパタヤ・・・ゴミくさい場所あり、市場の横を走った時に、揚げ物の油の匂いで、ぶっ倒れそうになったりした。

それでも、本当に気持ちよく走った。

10KMという距離・・・意外にあつという間の距離で、1時間半で走りきった。

そりゃ、マラソン選手が、42キロを2時間何分で走るというのと比較しても仕方がない。

自分としては、大満足のマラソンだった。

ちなみに、ダムさんよりも早くゴールした。

ゴールした後、記念のメダルを頂き、またまた大満足。

他のマラソン大会は知らないが、ゴール後、おかゆ・揚げパン・豆乳・果物が食べ放題だった。

走った後、美味しくて、「ガツガツ」食べてしまった。

生まれて初めて参加したマラソン大会・・・

「何故、参加しようと思ったのか？」という理由すら分からない。

「何となく」というのが、精一杯の返答。

ひょっとして、今の自分を試したかったのかもしれないし、自分の年齢を再認識したかったのかもしれない。まあ、そんな格好良いものではなく、「ただの気まぐれ」だろう。

最初の参加の動機から含めて、何が何だか分からない経験だったが、「参加して良かったし、楽しかった。」事だけは事実である。

7時半に部屋に到着後、しばし、昼寝？朝寝？

こりゃ、夜練れなくなると思い、サウナで汗を流す。

(最近、サウナ後が、疲れて熟睡できることが判明)

マッサージ2時間びっちりやったお陰で、何とかいつも通り、仕事をする。



給料交渉

2007,7,5



給料の額・・・日本で働いていた頃は、あまり、興味がなかった。給料明細を見て、「総支給額」「控除」そして、「振り込み額」が、大事だった。

タイで仕事をして、絶対に避けて通れない話が、「タイ人の給料額。」「給料交渉」と言った方が良いかもしれない。

本日も、試用期間明けの子が、「少ない」と言ってきた。

「妹よりも少ない」「他の会社は、こんな給料水準ではない。」と言ってきた。

いつも思うことだが、「入社する時/採用時点と、こんなにも違うものか。」とうんざりする。採用時は、「会社の規定どおりに・・・」「はい、これで、良いです。」という返事。

大体、勤務して、4ヶ月(試用期間)で、いくら上げてもらえると思っているのか？

と怒鳴りたくもなる。

最近、めっきり怒る気力もなく、「ただただ、申し訳ないが、会社としては、この金額だ。」とお願いをしている。

あなただけ、特別扱いは、できない。

心の中では、「給料が気に入らなかったら、辞めれば良い。」と思っている。

「こんな給料じゃ、やる気も起きない。」と、はっきり言い切るタイ人社員に、「どうぞ、ご自由に・・・」と思っている。

だって、ここで、「分かりました。」と言い、会社の提示額を譲歩したら、何かにつけて、この作戦を取られるのだ。

大体、「妹より、少ない」「他社の相場は違う。」「5年前の水準だ。」などと言っているが、「日本人経営者サイドを舐めているとしか思えない。」少なくとも、色々な情報を集めて、「この国の給料水準は、熟知している。」

お金に関しては、駄目もとで、「言ったもん勝ち」「ひょっとして上がったらラッキー」なんだろうが、聞くほうは、本当に疲れる・うんざりする。



内装で、何処まで変わるか？

2007,7,1



結局、馬鹿みたいにお金をつぎ込んだ。

そう、ポロコンドの事である。

人に貸すと決めていたが、「ひょっとして内装に金をかければ、自分が住めるかもしれない。」と思ったのがいけなかった。

「どうせ、安いし。」と思ったのが間違いだった。

賃貸ならば、壁の塗り替えと床のタイルの取替えだけで、何もかも込みで1万パーツポッキリだったはずである。

1万パーツ+賃貸の為の最低限の家具セットを購入し、賃貸に出して、ビール代を稼ぐと言うのが、最初の目的だったはずである。

しかし、やはり、「ポロ部屋を見たら、あれも、これも・・・」で、結局、かなりの金額になった。

今回の内装オーダーは、下記の通りである。

コンドの事務所に支払ったお金は、27000パーツ

部屋の床のタイル取替え・壁塗り（材料費込み）

ベランダの扉と壁の撤去（少しでも広く見せるように）

ベランダにサッシ取り付け（サッシ7000パーツの材料費込み）

トイレの洗面台撤去（トイレが狭いので、撤去し、ベランダに皿を洗える程度のシンクを購入）

トイレの床のタイルを全部取り替え

トイレの壁のタイルを全部取り替え

（タイル関係は、1m²当たり、120-150パーツの材料費を含む）

トイレのタイルと共に、汚らしい便器も取替え。

別途自費で購入した材料(物品)

壁の扇風機（材料費）	1000パーツ
トイレの便器（材料費）	1850パーツ
トイレの扉（材料費）	1000パーツ
ベランダに設置するシンク（皿洗い用）	3780パーツ

合計、35000パーツの出費は、ほぼ、全取替えの工事としては、格安の気もする。
丁度、日本円で10万円ほどとなる。

しかし、コンド自体を考えた場合、果たして「価値があるかどうか？」は、分からない。

最初から、「自分が住むのか、人に貸すのか？」ぐらいは決めないとなーって思った。

それにしても、「タイルの色、何色が良い？」とか「床は、何色が良い？」とか、「買い物する喜び」を
徐々に味わった。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

8月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

賃貸用2部屋目

2007,8,31

コンド管理事務所から電話があり、20万パーツで売りたい人が居る。
 「買うか？」と言われた。
 さあ、大変である。
 お値打ち、価格だから、見る前に「購入を即決。」
 ダムさん、気になって、「見に行くらしい。」
 僕は、「どうせ、リフォームするから・・・」と見る気もしない。

購入の条件・・・2部屋目からは、僕の名前。
 ということは、外貨送金をしなければいけなかったりと、非常に忙しくなってきた。
 コンドは、コンドなので、外貨送金し、銀行に証明書をかいてもらい、土地局に行く手間がある。
 10部屋が目標だが、まずは、5部屋買って、月々の「何もしない収入が1万パーツ」というのが、僕の当面の目標。

来年の4月に帰省した時は、自分で外貨送金しようと・・・企んでいる。

老後を考えた時・・・コンド賃貸収入が、タイでは一番良いんじゃないかって思う。
 「死んだ後、名義はどうなるか？」とか「現金に勝るものは無い。」という考え方もあるが、株や投資をするほど、知識を持ち合わせてない凡人は、一番手っ取り早い方法だと思っている。

ホームシック？

2007,8,30

タイに住み始めて、丸6年が過ぎようとしているのではないかと思う。
正直、今まで、「日本へ帰る。」ということは、考えたことが無かった。
そんな選択肢は、あり得ないと思っていた。
しかし、最近、ふと、「日本に帰っても良いかなー。。」って、ぼんやりと思う時がある。
ダムさんが、強引に、「日本への1年留学」をしようとしているのも大きな原因で、「僕も、一緒に日本に帰ろうかなー。」なんて、思う時もある。
あと2-3年がんばってタイで働き、40歳から45歳まで、とりあえず、食うに困らない程度の仕事をしたら、後は、タイに戻ってきて、ご気楽生活も可能なのでは・・・と思ったりする。

しかし、今の僕の場合は、経済面で、タイで働いた方が、数段良いという例外的な人となってしまった。
タイで働いた方が、収入が良い。ましてや、物価価格を考えると、とんでもない所得格差となる。経済的にも、タイで働いていた方が良いと言う日本人は、少ないと思う。

別に、タイでの生活が嫌になったという意味ではない。
日々の平凡な生活・田舎生活に「つまらなさ」を感じてきたと言うのが、事実のような感じもする。
スニーも、飽き飽きし、最近では、特に行きたいとも思わなくなってしまった。
年を取ったのか・・・・・・・・
今更、ホームシックでもないし、特に困ったことがあるわけでもなく、不満があるわけではない。
不満と言えば、不健康な生活から脱却できないでいる自分自身に腹が立つくらいである。

まあ、今すぐの事でもないし、「何となく、帰りたいと感じる時がある。」という程度の事である。正直、もうしばらくは、「この所得があるのなら、絶対に辞めない。」と思う。



具の無いパン

2007,8,27



ヤマザキのパン屋・・・・パタヤでは、北ロータスにしかない。
ここの商品は、日本的パンで、とても美味しい。

バターロール買ったら、非常に美味しく、「うまい」と言って、2個、3個と食べた。
形からしても、中に、何か具が入ってそうにタイ人(ダムさん)は考えるらしい。
「中は、ソーセージか?」・・・・「違う」
「クリームか?」・・・・「違う」

結局、「中は、何も入っていない」ことが判ると、「何で美味しいの?」という顔をされた。
タイ人からすると、「具の無いパン」「味が無い」ものなのかもしれない。

クリームも入ってなく、砂糖をまぶしているわけでもなく、当然、中に具が入ってもいない・・・・そんなパンは、白いご飯だけを食べているようなイメージなのかなーとふと思った。



不思議なこと

2007,8,26



不思議だ・・・貯金が増えない。
頭の中の計算と、実際の銀行残高が違いすぎる。

そりゃ、安いとはいえ、コンドを衝動買いしたりしたから、3-4ヶ月は、大きな買い物をする前の金額に戻すのに時間がかかる。
それにしても、何に使っているのだろうか？と首を傾げたくなる。

光熱費に関しては、電気・水道共に、数百パーツの世界。
パタヤのコンドは、購入したから、月に400パーツの共益費と光熱費は、300パーツくらい。（休日しか居ないので、光熱費も激安）
田舎のアパートは、洗濯代も含めて、5000パーツで十分にお釣りが来る。
物欲もないタイプだし、洋服やファッションにお金をかけるタイプでもない。

つまり、毎月の固定費は、非常に少なく、残りは、「飲み食い」だけである。
どう考えても、飲み食い（アルコール含む）しかない。
そうだとすると、恐ろしい金額だと思う。

友人の勧めで、来月から、家計簿でもつけようかと思っている。
1ヶ月でいいから、現状を知りたい。（改善の為）

タイに来た当初は、家賃・学費も入れて、2.5 3万パーツぐらいで生活していたような気がする。
パタヤに来た当初は、冗談半分で、生活費2万パーツで、スニー代2万パーツで、貯金が2万パーツ・・・完璧じゃーーーーなんて、言っていた。今の生活は、十分であろうと予想される生活費2万パーツを倍以上超えている。

食事・飲み食いであると想像するが、食費も、この国は、ピンキリ・・・まあ、日本もそうだが、食事をする場所を見直さなければいけないと思った。
安く、健康的で、なおかつ美味しいのは、自炊することであるということは、日本もタイも同じである。

ちなみに、平日は、田舎生活なので、自宅で、箱飯か、ビニール飯が多い。
この前の日曜日の食事・・・朝、近所のぶっかけタイ飯・・・昼、ピック・ホーンステーキにて、ステーキとサラダ・・・夜、ムン・アロイでシーフード・・・
やっぱり、節約しようと思う。（マジで）

逆転最終結論

2007,8,25 

嬉しいニュースである。
ダムさんが、家を購入するのを諦めた。（諦めさせた。）
というのは、タイは、金利がすごく高いのである。
そりゃ、預け入れ利息も日本に比べて率が良いので、借入れ利息も、高く設定しないと商売が成り立たない。

ちなみに、住宅の為の借入れ金利は、下記のようにになっている。

政府住宅銀行（タナカーン・ソククロ）

最初の3年間・・・5.5%

4年目以降・・・7.5%

タイコマーシャル銀行（商業銀行） 6.875%（MINIMUM LOAN RATE）

この金利じゃ、ローンの支払というより、金利の支払となってしまう。

何も、借金してまで買うものではない・・・という説得をした。

(タイ人の場合、借金して買えるのなら、喜んで借金をする。後先考えないからである。まあ、困ったら、売れば良いだけだから、そんなに深刻に考える必要はない)

部屋の家賃がもったいないといっても、所詮、この場所に、何年住むかも分からないし、家を買えば、家具や内装や家電の出費もかさむ。

借りていた方が、どれだけ、気楽なことか・・・・・・・・

大体において、家賃は、僕が払っているのだから、ダムさんが、「家賃がもったいない」と言い出すこと自体が不思議である。

なお、手付金(予約金)は、返ってこない。

そのお金は、僕が支払っても良いと思う。

それだけ、この最終結論に関して、僕は、サバーイ・チャイなのである。

タイに来て、「我慢した生活は、本当に嫌だと思う。」

家や借金に縛られるのは、嫌だからである。



国民投票

2007,8,20



新憲法の国民投票が行われ、57%の賛成をもって、新憲法が正式に認められるようである。

これにより、正式に選挙が行われる。

クーデターの際は、1年以内に民主主義へ(つまり、2007年の9月中に)と言われており、その後、今年中に選挙を(2007年中に)・・・今日、タイ人に聞いたら、「どうも、2008年の1月の下旬に選挙になるだろう。」・・・・・・・・と。

まあ、タイらしく、何となく、いつの間にか延期となっている。

個人的には、早く選挙を行い、政治の混乱が静まって欲しいと願っている。

タイ人は、それほど重要視していないが、「今、軍事政権であるという事実がある。」

民主主義を声高々に言ったって、「クーデターによる政権である。」

隣の国と何ら変わらない。

総理大臣を選挙ではなく、武力で追い出し、国が統治されている状態が続いている。

タイの不思議は、これを誰も「異常事態であると思っていないこと。」

また、政治とのつながりは、はっきり言えないが、「経済が良くない」ことは事実である。

最近、新聞の一面で、「千人規模の工場が閉鎖」とかいう記事をよく目にする。

日本も同じだが、大きな会社が、倒産すると、「連鎖倒産」が広がるはず。

この国の人たちは、「危機管理意識が低い」

何かに備えて、「備蓄」することはない。

お金が典型的かもしれない。

預金が無い場合、企業が倒産したりする。つまり、失業すると、たちまち、路頭に迷う。

「無いから盗む」という単純な事になりやすく、犯罪発生率もUP。

政治安定 しっかりした経済政策 経済安定 安全な国・・・そうしてもらいたい気がする。

ズドンと経済が落ちたら、コンドを買いあさろうという考えもあるが、やはり、自分が住んでいる国が「安全な場所」であることが、最も大事なことではないかと思う。

タイに来て、交通事故を何度も目撃し、人が死んでいる姿も何度も見た。
新聞の一面で、毎日死体の写真を見る。
タイの南部では、毎日ように、テロによって死者が出ている。

安全な国であること。
身の危険がないこと。

日本人は、あまり考えないかもしれないが、最も大事なことだと思う。



結論

2007,8,16



結局は、ゴミコンドは、賃貸に出すことに決めた。
まだ、借り手は決まっていないが、正式にコンド事務所に打診した。
理由は、治安が心配だから・・・

物を盗られるなら良い。

命は、勘弁である。

まあ、物が一番の目的だと思うが、もしも運悪く、泥棒と遭遇してしまったら・・・というのは、よく聞く話である。

事務所の人に、「家具を買った。」って伝えたら、「ちゃんと南京錠かけた。南京錠がかかってなかったら、盗られても、責任持てないよ。」とはっきり言われた。

家具を持っていく???ピンと来ない。

でも、これが、現実である。

週に1回、パタヤに帰る時に、「これは、あるかな?」「泥棒に盗られていないかな?」なんて思いながら帰るなんて、真っ平御免である。

確かに、場所的には便利な場所であるが、やはり「ここは、相応しくない。」と決めた。

白人も数多く見かけたが、何となく「住人の質の低さ」を実感するので、遠慮することにした。

よく口にするが、「タイには、真ん中がない。」

ゴミコンドと今のジョムティアンのコンドの間があれば・・・と思うのだが・・・

ジョムティアンのコンドは、パタヤに数ある「高級コンド」と比較したら、大した物件ではない。

しかし、住人の多くは、「ある程度、ゆとりのある生活をしている。」と見受けられる。

そりゃ、人の家計は、全く未知だが、少なくとも、そう見える。

購入価格で、4倍の差は、やはり、住人格差も大きいと実感せざる得ない。



後半戦

2007,8,15



マッサージの学校も前半を終了した。
つまり、60時間のうち、30時間が終了したということである。
6時間×10回の授業というのは、いかにもすぐに終わるようなきもしたが、仕事をしながら休みを使って通う場合、結構長い。
我がまま人間なので、休みをすべてマッサージ学校に通うというのも、非常に馬鹿らしく感じ、土日休みだったら、土曜日だけ行って、日曜日は、休養するとかいうスケジュールリングなので、余計に時間がかかっている気がする。
それでも、半分の5回(5日)が終わったので、後は、意外と早い気もする。
まあ、9月末までには、あと5回行けるのではないかとと思っている。

早く終わって欲しいと言うか、「早く証明書が欲しい。」と切実に思う。
最初の動機が、「マッサージ店開業の為に、終了証が欲しい。」というだけの理由なので、「自分でマッサージをうまくなって、人にしてあげたい。」などという気持ちがサラサラない為、
こうなれば、「修了書をもらうことしか頭に無い。」
やはり、「マッサージは、される方が良いのであって、する方は、大変である。」
これ、最終結論かな？



誰がやるのか

2007,8,7



「誰がやるのか？」
「どこの課がやるのか？」
「誰の仕事か？」
タイで仕事をして、この質問を何度も聞かされてきた。

タイで仕事をする場合、とにかく仕事の範囲をしっかりとしなければならない。
面倒くさいので、「あなたがやって・・・」という回答をしたら大変。
「仕事が多い」
「私の範囲ではない」
と言い出す始末。

タイ語で、「チュアイ」という言葉がある。
助けると言う意味である。
表面的には、「チュアイ・ガン」と言い合う。
「助け合ってやろう。」ということである。
しかし、実際は、あくまで「助ける・補佐するだけ」であり、「責任を取る人ではない。」
自分の仕事が暇なら、「チュアイ」はOK。
しかし、本業と言うか、自分の仕事・責任にはしたくないという感じ。

日本に居た頃、そんなに「誰がやるんだ？」「誰の仕事だ？」って言ったことがあったかなーって思う。
でも、タイの常識に慣れてしまえば、非常に楽である。
責任の所在がはっきりするから・・・
しかし、問題は、誰もが、「責務は小さく、見返りは大きく」と思っていることである。

仕事しないが、給料は沢山欲しいということである。

でも、どこの国でも一緒だと思う。
日本でも、「給料泥棒」という言葉がある。

僕だって、日本に居た頃は、「サラリーマンは、いかに給料泥棒になるかが大切だ」と思っていたことがある。
そう、楽しんで沢山貰いたいと言う気持ちは、国は違えども、同じなのであろう。



家を予約する。

2007,8,2



家を予約してきた・・・と突然言われた。
しかも、風呂上り、「あっ、そう言えば・・・」という話の切り出しがた。
「何を冗談言って・・・」と言うのが、最初の段階で、徐々に話を聞くと、「マジかよー」

工場近くのタウンハウス(59万バーツ)の予約をしてきた・・・と。
30年ローンで、月に3900バーツだって・・・アホか=====
総支払金額は、倍以上である。
日本もそうかもしれないが、住宅ローンを20年や30年で組むというのは、タイでもポピュラー。

ダムさんの考え方も分かる。
家賃は、もったいないと思う。
事実、この田舎に生活して2年半ぐらい経つ。
月に‘3000バーツとして $3000 \times 12 \times 2.5 = 90,000$ バーツもの家賃を支払ったことになる。

ダムさんの頭では、今も、アパート代を払っているから、30年ローンの3900バーツを出し、それに自分がいくら出せば、すぐに返済可能なのではないか？ということ。

家は、広くていいと思う。
居間に台所に、寝室が2部屋あるそうだ。
しかし、部屋が広いということは、掃除も大変だということ。
アパートじゃないので、家具はすべて買い揃えなければいけないこと。

「分かっどるんかーーーー」と言いたいが、誰の名義でもない、ダムさんの名義だから、無関心でいようと思った。
今の家賃分だけ、払う。
後は、自分で何とかすればいいと思う。

ちなみに、今を生きるタイ人。
30年ローンで支払う総額は関係ない。
月々、3900バーツ払えれば、この家を買える。
ダムさん、まとまったお金を持っている。
しかし、それは頭金に入れられないという。
せっかく貯めたお金だから・・・という気持ちは分かる。
しかし、預けている利息と、借りる利息を比べたら、当然、少しでも支払って、借入金の金額を少なくした方が得であると考えべきである。
しかし、説明しても、理解はするが、「このお金に手をつけたくない」と

手に入れたお金は絶対に離さない。
借りることに對して、身軽い。

でも、何とかなってしまう。
その何とかなるのは、何故だろう？と僕の方が悩んでしまう。



マッサージを勉強する

2007,8,1



タイ古式マッサージの学校が始まった。
技術を身につけたいというか、「将来、開くであろう盲人マッサージの開業の為」である。
60時間プライベートコースをパタヤの学校で受講することにした。
休みの日を中心に10日間通わなければいけない。
日本人専用?の学校は、バンコクには、数校存在するが、パタヤは皆無。
まあ、マッサージの勉強をするのだから、タイ語でも・・・
60時間 9000バーツというのは、プライベート料金としては、格安だと思う。

1日目は、半日学科、半日が実地。
学科がたまげた・・・「タイ語で大丈夫」とやや自信があったが、特殊単語ばかり。
脊髄・尾骨・肩甲骨・鎖骨・・・タイ語で何と言うか、分かるはずない。

取りあえず、教科書を読ませられるが、読むことは、可能だが、内容は、さっぱり分からない。
先生が、「マイペンライ」というので、そんなもんかな---と思う。

午後から、マッサージの授業がはじまった。
ここで、初めて分かる。
マッサージをする方と、される方は、天と地との差だということを・・・

多分、姿勢も悪いのだろう。
肩が凝る・腰は痛い。

後悔の気持ちが出てきた。
証明書だけ欲しいのだから、バンコクで30時間のコースを選択すれば良かったかも。
半分の苦勞で済んだのに-----って。

1日目で後悔したが、何とか3日間の講習終了。
18時間終了したので、残り42時間。

内心、日本に帰らなければいけない理由ができたなら、タイ古式マッサージで生計を・・・と考えていた
ことがあったが、完全に消去。

でもね、たった3日間で、足・手・横向きまで終了。
最初、5日間で30時間という設定で「何が覚えられるんだ」と思ったが、
かなりのことが覚えられるのではないかと思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





O-net 楽天 Super Point 10,000 ポイント 結婚力診断

tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17  初めて来ました
- 2009,5,16  スニーの生活パターン
- 2009,5,11  税金UP
- 2009,5,10  ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9  ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8  ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

9月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

 ミャンマーで・・・

2007,9,28



最近、日本関係のニュースをタイのマスコミを通して知ることが多い。
最近、タイの隣国ミャンマーで、僧侶を巻き込んだ「民主化デモ」が起こっている。
数日前から、新聞紙上、ニュースでも報道していた。
そんな中、本日、日本人が銃撃され死亡したというニュースをタイラットの1面で知ることになる。タイの場合、死体・事故現場の生々しい写真が一面に掲載されることは、珍しいことではない。
日本人死亡のニュースも、当然のように、記事と共に、死体が写っている。
写真を見る限り、「混乱の渦の中」という感じがして、写真を見る限りは、「明らかに、近づいた人が悪い。」と思ってしまう。
報道関係者だったことが分かり、ふざけ半分で野次馬のごとく見学していたわけではなく、命を張って取材していたことが分かったので、「日本人が被害にあった。」という意識になった。
民主化を求めるデモ・・・石油価格上昇の不満から僧侶のデモ・・・軍事政権・・・銃撃を受けて死亡・・・戦後生まれで、「平和ボケ」で育った僕には、全く未知で、別世界の事である。しかし、実際に、今住んでいるところの隣の国で起こっていることである。
タイ国内の南部情勢にしても、実際に、タイ国内で、毎日のように爆発・テロが起こっている。日本を離れると、日本人の「平和ボケ度」を実感する。

ミャンマーのことを軍事政権というならば、タイも、暫定とはいえ、軍事政権である。
タイに住み始めて、周辺諸国も含めて、何だか、おかしい政治・治安状況になってきたなーって感じる。
まあ、日々の生活を送る限り、全く、危険を感じないと言うのが、本音ではあるが。

さて、パタヤの話になる。
最近、パタヤ在住日本人と何人か知り合いになった。
バンコクと違い、パタヤは、驚くほど狭い。(日本人社会に関して)

日本人として、価値観が同じなのか、行動パターン（場所）も、同じである。
もっと分かりやすく言えば、何処に行っても知り合いと会う。

日本語が恋しくなったら、ここに行けば、誰かに会える場所とは・・・

1) お仲間と話したくなったら、ビーチに行けば、いっぱい・・・旅行者のみならず、在住者もいる。椅子代20Bでコーヒー飲んででも、100バーツもあれば、のんびりできる場所。

2) トニーフィットネス・・・永久会員15,000バーツというのは、やはり魅力的だと感じたのは、僕だけではない。ファランほど目立たないけど、日本人会員もかなりいる。時間帯と場所で、ばったり会うことが多い。最近、　　さんは、この時間帯にいるとうことが、分かりつつある。

3) カルフル・・・ここに買い物に来る在住者は、多いと思う。絶対とは言わないが、カルフルに買い物に行くと、80%以上の割合で、知り合いに会う。ある人は、カルフルのフードコートで、昼間からビール飲んでいるところに遭遇し、ある人とは、魚屋で、魚を揚げてもらっている所で会ったり・・・パタヤでの友人ならともかく、会社関係の知り合いとも会う。ダムさんの一緒の時は、できるだけ行かないようにしている。

4) 最後は、こっちのお仲間行きつけの日本食屋・・・サウスパタヤのコンピューターセンター横のOという日本食屋。お仲間の常連も多く、ここに行って、誰かと会わない時はない。逆を言えば、「誰かと会いたいから、ここに行く。」という場所であろう。丁度スニーが近いので、スニーに出る前に、食事を取って、それから、出かけるかなーというような場所。

パタヤの街は、バンコクと比べて、やっぱり狭い。

だから、行動範囲や、行動パターンが、おのずと限定されているようである。

分かりやすい街、コンパクトであることが、魅力の一つだと思う。

ほどほど都会で、衣・食・住に困らない。

そして、何より、海の側・・・日曜日の朝、ジヨムティアンビーチをバイクで走る時が、何よりも爽快である。

友人が言った・・・「湘南に住んでいるみたいなものだな」って・・・湘南に住んだことがないので、「そうだ」とも言えないが、良い環境であることは確かだと思う。



検査を受ける

2007,9,27



エイズ検査を受ける機会があった。

「機会があった。」というのは、言い方がおかしく、「何となく受けてみた。」という言い方が正しい。街中のクリニックのいたるところに、「エイズ検査」という文字を見る。

やましいことは無いが、「何年かに一度ぐらいは・・・」と思い、相方共々検査した。

実は、何度目かの検査である。

まあ、タイに来てからは、初めてのことである。

日本にいた頃は、若かったこともあるが、「結果を聞くときは、ドキドキした記憶」がある。しかし、40歳を目前に控えた年代となった今は、緊張もしない。

検査であるが、妙に簡単だったので、ここに記したい。

1) クリニックに入り、「エイズ検査をしたい」旨、告げる。

2) 値段の確認をされる。(一人300バーツ)

3) 患者がいなかったので、すぐに二人で診察室に通される。

4) 医者が、「何で検査するの?」と世間話のように質問。

5) 「ただ検査するだけ」(トルワット・シヨイシヨイ)と答える。

6) 医者が、検査セットを準備

検査セットとは、針とリトマス試験紙のようなものがプラスチックに敷いてあるもの(7CMぐらい)

7) 医者が、針で指先を刺す。

- 8) 出てきた血をプラスチックの容器に入れる
 9) 1分待って、結果がでる。(陽性と陰性の見分け方は分からない。)

医者が、「あなたは、タイ語の説明が分かりますか？」などというので、ちょっとドキッとした。なんだ――、説明しなければいけないことがあるのか――って。

説明内容は、「今日の結果は、エイズに感染はしていない。ただし、この2 - 3週の間感染していたとしても、本日の検査では分からない。1ヵ月後に再検査すれば、完全に感染していないことが、証明される・・・」という趣旨の話聞いた。

10) 受付で300バーツ×二人分を支払って終了。

所要時間は、全部で5分といったところだろうか。

あまりに簡単すぎて、本当に検査結果自体に信憑性があるのか？と疑ってしまう。

妊娠の有無を尿で一瞬にして判定することを思えば、そんなものかと思う。

とりあえず、老化現象を感じる今日この頃だが、大きな病気にはかかっていないようだ。

心配なのは、「尿酸値」であるが、最近は、「浴びるほど飲む」という日は、少なくなってきたので、来年の健康診断時は、「良い結果」が出るような気がしている。



支払い期間に入れてくれる？

2007,9,13



社会保険や年金記録紛失の記事を毎日のように目にするので、自分の年金のことも気になっていた。

31歳でタイに来て以来、当然？日本では、年金を支払っていない。

日本で働いた期間、つまり、10年近く支払ってきているので、もったいないと思ってはいたが、若い時は、「そんな先のこと・・・」「どうせ、僕らが年を取るころには、70歳になっても受給できないだろうし・・・」なんて思っていた。

40歳を目前に、「将来」「老後」という言葉も現実のこととして、真剣に考えなければならなくなると、「年金をもらいたい。」「受給資格を得たい。」と思うようになってきた。

だって、単純に考えれば、「年金がなかったら、一生、働き続けなければならない。」のである。もしくは、「相当額の預貯金」を残すか、「定期収入を得る何らかの方法」を考えなければならない。

思い切って、国際電話で、社会保険事務所に質問した。

質問内容は、「現在、海外に住んでいる。過去に遡って、国民年金を支払いたいが、何年前まで遡って、支払えるか？」という質問。

回答は、「過去に遡って、支払える期間は、2年間です。海外在住の間は、国民年金の任意加入となります。任意加入の場合は、遡って支払えません。しかし、海外に居た期間で支払っていない期間は、受給額には、反映されないが、年金加入期間には、加算される。」との事。

ちょっと、驚きである。

「払いたい」と言っているが、「払えない」と言われたことも、ちょっとショックだったが、何よりの驚きは、海外に居る期間は、支払っていなくとも、年金支払の計算期間に入っているということである。

つまり、年金受給資格の25年という年数は、程遠い年数だと思っていたが、あと8年くらいすれば、金額はともあれ、受給資格が得られるようである。

これは、意外である。

過去の分も含めて、パスポートが、いよいよ貴重なものになった。

海外に住んでいたことを証明する、一番の証拠だからである。

現在、喜ばしいことに、「厚生年金に加入している。」

あと、8年、この会社で働いたら、年金がもらえるんだーって思うと、少し嬉しくなった。



安倍総理辞任のニュースは、ニュース速報のメールで知った。
参議院選挙で過半数割れしたとはいえ、選挙直後に辞任しなかったので、このまま、続投すると思っていた。

辞任のニュースを知って、すぐに友人に電話した。

「知ってる・・・安倍総理辞任の件・・・」

友人が言った。

「えー、辞めたのー。じゃあ、我々も辞めようかー。」って

「大爆笑」

常々、愚痴をこぼす仲・・・タイは、サバァイで良い国だと思っているが、外国であることから、嫌なこともある。

愚痴もある。日本語で、聞いて欲しい事もある。

パタヤに住んでいれば、「リタイヤして、毎日が休日のファラン」を目の当たりにして、「働くこと自体が嫌だ。」と思うこともある。

一刻も早く早期リタイヤを・・・が、目標である。

だから、「我々も、辞めようかー」の返答には、大笑いしてしまった。

「我々も辞めようかー」の意味は、「仕事、辞めちゃうかー」って意味であろう。

タイに住むと、ご気楽、尻軽になってしまうものだ。

一夜たって、ネットでニュースを見て驚き。

「無責任」「放り出した」「お坊ちゃまは、我慢ができない」等書かれていた。

冗談じゃないよーって思った。

「選挙で負けた責任」「任命責任」とかさざん「辞任を促し」、本当に辞めたら、「無責任」と言う。

そんな馬鹿なことがあるかーって思った。

それ以上に驚いたのは、「小泉再登板」という記事まであった。

いくらなんでも、あり得ないと思うが・・・

日本も、変な国だなーって思った。

それより、外国に住む日本人にとって、国のトップ（総理大臣）は、あまり短い周期で変わるべきではないと思う。

小泉前総理の名前と顔は、タイ人の中でも、かなりの割合で知られていた。

1年も経たずに、総理大臣が交代するようなことが続けば、日本の総理大臣の名前も顔も分からなくなってしまう。

そんな些細な理由ではあるが、誰が新総理になっても、任期を全うできる実力と運の持ち主に、次の総理大臣になってもらいたいと思う。

-



「土地局で、行うこと」・・・それは、ひたすら待つことである。
売る主は、土地の権利書（シャノート・ティー・デイン）とIDカードを提出。
オフィスは、売買契約書を用意
買い主である僕は、外貨送金の証明書・パスポート・労働許可書・通帳を用意していったが、労働許可書と通帳は、使用しなかった。

まずは、カー・オンという費用を支払う。
つまり、名義変更代である。タイ人は、CHANGE NAME チャージと言う。
その中には、税金・手数料・印紙代が、含まれている。
面白いのは、役人のカー・パヤーン（証人代金）も含まれていることである。

名義変更代は、物件価格によって決まると思うが、20万バーツの物件で、1万数百バーツだった。
一応、不動産の評価額と言うのも、記載されていたので、名義変更代を安くしようと思って、無茶苦茶安い金額での売買は、何か言われるのではないかと思う。

タイの場合、コンドを購入時の、このお金だけで、購入後に支払うお金はと言えば、共益費だけである。
固定資産税は、ない。
日本の場合、購入時に、行政書士を雇って、法務局の登記にかなりのお金がかかり、翌年に、不動産取得税の支払が待っていたりと、余計なお金結構かかる。
それ以外にも、毎年の固定資産税と、毎月の共益費が待っている。
その点、タイは、ご気楽である。

だから、僕のジョムティアンのコンドの維持費は、共益費の400バーツと電気・水道代だけである。土日しか使っていない理由もあるが、1000バーツを上回ることは、あり得ない。

何枚もの書類にサインをしたが、僕はとにかく「買い主」とタイ語で書かれてある場所にのみサインをした。
10箇所ほどサインしなければならず、何の書類か、確認している雰囲気ではないのが、役所だから・・・OKだろう・・・と中味を見ずに、次々にサイン。

売主も同じように、10箇所近く、サインする。

最後に、タイ語の土地権利書を手にして終わり。
売主の名前から、僕の名前になっているか確認をする。（これが、一番重要）
土地権利書は、持ち主が1部と、土地局に1部ある。

今回は、名前のスペルが間違えていたので、その旨、申告すると、土地局保存用のオリジナルも両方、手書きで書き換えて終了。

タイ語が読めない人は、やはり問題となるので、タイ語の読める日本人同行が言いと思う。
多分、スペルがちょっと間違えていても、タイ人は、言ってくれない気がする。
また、数字も、タイ数字を使っているの、タイ語の分からない人は、全く分からないということである。

最後に、お金の受け渡しであるが、CASHER CHECK又は、現金が一般的である。
しかし、CASHER CHECKは、銀行手数料がかかることと、銀行に持参しなければいけないので、面倒くさいと言う人もいる。

僕の場合、サインが終了し、名義変更代を支払ったところで、現金を渡した。
役所の中で、札束を数えるというのも、タイならではである。

土地局に行くのも、2度目となる。
今回は、非常に不愉快な思いをすることになる。

一つ目・・・タイの役人

まず、袖の下が、堂々とまかり通っていること。
封筒にお金を入れて渡すことで、すばやい事務仕事が期待できる。
その額300バーツ。

1件、300バーツとすれば、1日20件は最低あると思われるので、副収入の額も何となく理解できる。

「タイ人の収入で、どうやって、家や車を買うのか？」と不思議に思っている人も多いと思うが、「権力あるものは、本収入より、副収入で稼ぐ。」という理屈がまかり通っている気がしてならない。

徐々に、あからさまな「お菓子代」を目の当たりにして、ちょっと気分を害する。

貰うものももらって、働くなら良いが、それにしても、タイの役人は、働かない。

携帯で、楽しくおしゃべり・・・友人が訪ねてきて、おしゃべり・・・ヤクルトおばさんとおしゃべり・・・自分の仕事が終わったら、他人の仕事は、知らん振り、鏡で化粧直し・・・最近、怒ることなくなり、マイペンライを言える人間になったとは思いますが、「あと、何年待てば、書類ができるのか？」って、怒鳴りたい衝動に・・・

二つ目・・・売主のババア

こんな気分の悪いババアも久々・・・会った早々・・・「赤字・赤字」「安く売りすぎ」を連発。別に、僕は、値切ったわけでもないが、聞いてもない事情をペラペラ・・・

最初は、25万バーツで売り出したそうだが。

何ヶ月経っても売れないから。23万、21万と下げたが、売れない。

「僕が、20万なら買う。」と言ったので、OKしたというのが、売買のいきさつ。

いずれにしても、自分でOKし、書類にサインもしたのである。

僕から言わせてもらえば、「どうしても、今、買わなければいけないわけでもなく、20万バーツ以下なら、買っていい。」・・・が、本音・・・悪い？

会うなり、「ブツブツ・・・」そして、「バンコクから来たから、ガソリン代が・・・」って、いかにも、僕にガソリン代を出せと言わんばかり。

その後、オフィスへの、手数料の2000バーツを「あんたが、支払ってくれない」って・・・

関わりあいたくないから、「分かりました」というと、お金の話は、ひとまず終了。

関わりあいたくないというよりも、「聞きたくもない。」というのが、本音で、2000バーツで、このババアのお金の話が終わってくれるなら・・・ということ。

これぞ、「タイで一番かかる費用は、訳が分からない人にあげるお金。」のこと。

その後、「仕事は？」「会社は？」の個人尋問が始まる。

あーーーー、嫌だなーと思うが、役人の仕事ぶりからして、事務処理が進んでいる気配も無い。

拳句の果てに、「名刺ちょうだい・・・娘の就職で、お世話になるかもしれない。」もう、ぶち切れんばかりの精神状態だが、「確かに、安い買い物だと思ったので、我慢」

にっこり笑って、「今日は、もって来ていない。」

あーーーー、タイ語しゃべれない振りをすれば良かった・・・と後悔。

徐々に、感じの悪いタイ人と話をした感じ。

しかし、考えてみたら、タイ人の考え方は、下記のようなのである。

手に入れた財産を安く売ると言う考えはない。

コンドも同様に、古くなっても、値上がりすると思っている。(下がることは無い)

1パーツでも欲しくて、1パーツでも払いたくない。

今回、思ったのは、中流生活者は、中流生活者で、生活が大変なんだと思う。

それ相応の、生活水準・・・つまり、家も車も維持しなければいけない。

中流生活者といえ、それなりの収入もあると思うが、それなりの支出もあるだろう。

一部を除き、財産をローンで購入している人が多い。

だから、お金に関して、執着したい気にもなる。

しかし、不思議なことで、タイ人は、貯金をしない。

物=財産=売れる・・・というのは、理解するが、投資の分散という考え方は、無いのだろうか？

この売主も、1日も早くまとまったお金が欲しかったようだ。

25万から20万まで下げたことが、物語っている。

ちょっとでも、余分の貯金があったなら・・・と考えると、残念で仕方が無い気がするが、こういう人がいるから、安く買えるラッキーな人間もいる。

それにしても、本当に、気分の悪い1日だった。



コンド購入の道-3

2007,9,7



前回、日記で紹介した、外貨送金の証明書CREDIT ADVICE / RECEIPT という書類の件だが、全く同じ書類で、2006年に購入しているので、問題ないと思ったら、大間違い。

コンド事務所を通して、土地局に確認に行ったら、「英語だから駄目」との事。

なんでも、BOSSが交代したから・・・というのが、理由。

まさに、無法地帯・・・役人次第のタイランド・・・文句を言っても、「サインする権限」のある人が、「駄目」と言っているのだから、従うしかない。

再び、銀行へ行き、タイ語で書いてもらう。

要約すると、下記の通りである。

外国を購入した証明の件

チョンブリー県の土地局職員宛

この証明書が、証明するのは、MR. が、外国から送金を受け、その外貨を銀行に売った。その目的は、コンドミニウム（コンド名と部屋番号まで入っている）を購入する為である。

買った日

外貨金額 円建て

バーツ

以上の事が、タイ語で書かれてある。

この書類をもらう為に、銀行へ申請書と売買契約書を提出した。

ちなみに、バンコク銀行では、手数料が、200バーツだった。

まあ、この書類を見る限り、送金人のことが、まるっきり書かれていない。

つまり、日本から、親に送金してもらおうが、全く問題ないということになる。

外貨を持ち込んだという書類が、一番面倒な書類で、当日、土地局に行く時に、持参したのは、パスポート・ワークパーミット・銀行の通帳・上記送金証明書だが、実際に使ったのは、パスポートと送金証明書と売買契約書のみである。

もちろん、一番大事なものは、キャッシュですが・・・



コンド購入の道-2

2007,9,5



今朝、日経新聞と一緒に来た広告を見て、「えっ」って思った。

とある語学学校の広告である。

各種クラスの紹介と共に、レベル・時間帯や曜日、初回開校日等が記載され、対象者という欄があった。

「KIDS」、「中高生」という単語と共に、並んでいたのが、「奥様」という単語である。

思わず、吹きだしそうになった。

よく、「駐在」とか「駐在妻」という言われ方をするが、はっきり言って、「転勤で、たまたまバンコクに勤務しているというだけの話」であると思う。

「奥様」対象と言え、ば、「駐在の妻が、対象です。」と学校側が、指定しているようなもの。

まあ、日本も格差社会と言われているが、「タイ日本社会」もここまで、差別社会になったかと思った。

さて、コンドの件であるが、9月4日に日本に居る両親が送金してくれた。

9月5日の朝、会社に行く前に、銀行に寄ったが、入金されておらず。(通帳記入にて、確認。)

9月5日の13時に、GROVAL PAYMENT SERVICE DEPARTMENTへ問い合わせたら、入金されていたようだ。

電話での問い合わせだったので、本人確認の為、口座番号・住所・パスポートNo.等を聞かれた。

夕方、会社から出て、再度、通帳記入をし、入金を確認する予定。

入金確認後、明日、銀行へ行き、「外国からコンドを買うために、入金があったという証明書」をもらい、最短で行けば、7日に土地局へ行き、所有権移転登記をすれば、完了である。



コンド購入の道-1

2007,9,3



HPをやっているのですが、たまには、きちんとした情報も発信しなければいけないと考え、今回、コンド購入までの道のりを詳しく述べたいと思う。

参考までに・・・

コンド購入に関して一番の難題は、外貨送金の証明書である。

前回も同様だが、今回も、最も苦労することになる。

よく、トートー3という書類が必要であると各情報誌にのっているが、トートー3は、廃止されて、現在は、Credit Advice / Receiptという書類を受領する。

この書類の中で、記載される内容は、

日本円送金額 コンドよりも高い金額で・・・高く外貨送金したくない人は、コンド代70万 家具代30万とすれば、100万パーツのコンドでも、70万パーツ分の送金でよい。まあ、常識の範囲内であれば、ok

交換レート

パーツ金額 この金額が、売買契約の金額以上であるように

送金元銀行コード 日本側のswift code

送金元銀行名

送金元 REF No.

送金者 氏名と住所 日本側の送金人

入金口座番号 受取人タイの口座番号

入金口座名 受取人名前

支払内容： コンド購入の為

ここで、問題となるのは、

- 1.円送金すること。(円のまま送金し、タイでパーツに変換する。)
- 2.送り主(日本)が、親で、受取人(タイ)が子供の場合、(名前が違う場合)でも、2006年3月のコンド購入の際は、問題なかった。
3. コンド購入の為とコンド名を入れたが、コンド名を入れなければいけないか?コンド購入の為とだけかければ良いかは、不明。但し、最近、厳しくなっており、売買契約書も同時に提出するように、銀行に要求されました。

バンコク銀行の場合、global payment services departmentがこの書類発行の窓口になっている。

タイの場合、2006年12月に、外貨規制の法規制があり、今回の送金に関して、個人では、円送金ができないと断られました。

つまり、パーツ立て送金なら構わない。

「そんなおかしなことがあるか?」と思い、日本の銀行に直接電話を入れ、言い争った挙句、「今回は、認めます。」との事。

しかし、本当に、円送金は、「受け付けていないらしい。」

タイで、「何か変わったことをしようと思ったら、異常に大変」と言っているが、実は、「日本も全く同じ状況」のようだ。

今回は、僕の両親が、外国の息子の口座に送ると言うことで、余計にややこしくなるようだ。

本人が、本人に、本人の口座のお金を送金する場合は、割と簡単らしい。

以下、まとめると、今回の外貨送金に際して、特別に用意したものは、売買契約書のタイ語と日本語(英文だと1枚で済む)

その他、銀行名、支店名、口座名と国際コード(swift code)とコンドミニアムの正式名称等の情報。



まさに、ゴミ・・・だった

2007,9,1



ダムさんが、ゴミコンドの部屋を見に行った。

写真を撮ってきてくれた。

まさしく、ゴミコンドだった。

僕は、絶対にこの部屋に足を踏み入れることはないと思った。

それと同時に、24万で買ったのが、つい2-3ヶ月前。

物価は、急には変わっていない。

そんな中、4万パーツの違いと言うのは、こうも大きいものかと実感。(今回は、20万パーツ)

「誰が住んでいたの?」と思わざる得ない。

貸し出す際は、前ほどお金はかけないが、床の前面張替えとペンキ塗り(合計1万3千パーツ)そして、汚いトイレをどうしようかと思っている。

トイレの床と便器を変えたいとは思うが、タイ人は、関係ないのかなーと思ったりする。

一方、家具も何も無い今が、改装のチャンスだと考えれば、トイレの床と便器ぐらいは交換したほうが良さそうだ。

再度言うが、僕は、絶対に、この部屋に足を踏み入れることは無いと思う。

だから、便器の汚さなんて、関係ないといえば、関係ない。

まあ、20万パーツで購入し、3万パーツぐらい内装に投資し、2500パーツで貸せれば、十分に満足のゆく利回りではないかと勝手に考えている。

「ゴミ」「ゴミ」と言っているものの、この「ゴミコンド」が、老後の・・・(仕事を辞めた時に)一定の収入を運んでくれると考えたら、非常に「愛おしく」思えてくるかも(笑)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

10月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

自炊

2007,10,30

なんと驚くことに、自炊を始めた。
尿酸値が高く、家に帰って、ビールばかり飲んでいても仕方ないと思ったこと。
と同時に、あれだけ「美味しい」と思っていたタイ料理に嫌気が出てきた。
タイ料理が嫌というよりも、油が嫌である。
炒め物・揚げ物・・・とにかく油を使う料理ばかりである。

田舎生活、箱飯も多い。
箱を開けたら、ご飯までぐっちょりと油がしみている。
何を頼んでも、あっさりしたものが無い。
あたりし料理を注文したつもりでも、豚の油ミンチ（ムーサップ）が入っている。
油無し料理と言えば、ソムタムかヤムサラダぐらいしか思い浮かばない。

そんなわけで、電気調理器を1つ買った。
取りあえず、「茹でる」ということが目的。
野菜を茹でて、かつを節でもかけて・・・豆腐とコケ類と煮込んで食べたら、美味しいかも・・・
タイに着てから、部屋で調理したことがなかった。
インスタントラーメンは、当然、「調理」の対象から外す。

自炊を決意し、醤油とめんつゆぐらいいは、冷蔵庫にあったのだが、一応、毎日作るとしたら、調味料くらい揃えようと思い、ロータスに買出しに行った。
いやいや、タイは、調味料が安い。
「酢」・・・一瓶（小）7パーツ
「塩」・・・あじ塩みたいな筒に入った塩が、250MLのジュースぐらいの量で、10パーツ。
小さいサイズを探したけど、無し。

もっと、驚くべきことを発見。

野菜の安いこと。

空心菜を10バーツ買ったら・・・すごい量。

こりゃ、空心菜の炒め物を10皿分ぐらい出来る量。

改めて、料理屋は、儲かるんだなーって思った。

タイ生活7年目に入るが、自分で調理したことが無かったので、野菜や調味料の値段なんて、薄々は「安い」と思っていたが、知らなかった。

こんなに安いもんか・・・と思った。

こりゃ、自炊をする生活を始めると、非常に、「安上がりでかつ健康な食事」にありつけるのではないかと思う。

そんなこんなの、自炊1日目（笑）

今、考えている料理のレパートリー

1.お浸し関係（野菜を茹でるだけ）

2.湯豆腐（豆腐と野菜をぶち込み、めんつゆと酢とライムを混ぜ合わせると、ポン酢みたいになるかもと淡い期待をしている。）

3.ソーマン（ロータスで、中国語で書いてある麺を買ってきた。めんつゆがあるので、あっさりつつると食べられそう。）

4.ゆで卵（ゆで卵に、塩をかけて食べたい。目玉揚げは、見たくない。）

まあ、最初は、これくらいで良いでしょう。



街中での出会い

2007,10,29



パタヤの街と言えば、売った・買ったの世界のイメージがある。

確かに、「即席カップル」の多くは、バービアやゴーゴーからのOFFであろう。

しかし、普通に知り合う機会もかなりあるような気がする。

バンコクに居た時、「街中が発展場」と言っていた人も居たが、パタヤの街中も結構そうかもしれない。まず、僕が通っているトニーフィットネスにかなりのお仲間が会員となっていることが分かった。通常、日曜日の昼前ぐらいの時間帯に行くことが多いのだが、その時間帯は、早起きのロングステイ・ファランチームが多い。

しかし、夕方前後から、お仲間と見られるタイ人の姿がチラホラ・・・まあ、日本でも、ジムは、お仲間の宝庫である。

盲人マッサージで、いきなりメモを渡された。

名前と電話番号が書いてある。

いやはや、堂々としたナンパ方法である。

ダムさんに聞いたら、隣の窓から、40代のタイ人が、覗いていた・・・との事。

気味が悪くて、すぐにメモは破棄したが、40を目の前にして、ナンパされるとは、嬉しいものである。それにしても、街中で、普通に生活していたとしても、知り合いになるきっかけは山ほどあるようである。

まあ、恋人になるような良い出会いとなるかどうかは、別問題としても、気合を入れて、「活動」しなくても、普通の生活の中で、知り合う機会が結構あるようである。

そういえば、パタヤで唯一のゲイサウナ・・・新しくできたときに、一度お邪魔したのみである。また行ってみようかなーって思った。



高級病院

2007,10,24



パタヤで外国人が行く病院と言えば、3つ代表的な病院がある。
 バンコク・パタヤ病院・インターナショナル病院・メモリアル病院。
 書いた順番通りに、超一流 一流となる。
 何が一流化といえ、値段であり、肝心の医師の質・医療は、なんとも言えないというのが、本当のところだと思う。
 と言うのも、医師は、何曜日の何時から何時という契約で来ている医師も多く、普段は、他の病院でバイトしているかもしれない・・・というのが、医師の現状である。
 まあ、医療設備は、さすがにいいとは思う。

バンコク・パタヤ病院・・・入り口は、レジステーションサービス。
 コンピューターであつという間に、チェックイン・・・いや、受付終了。
 その後、係員が、担当の診療科まで個別にご案内。
 待合室は、水・フルーツジュース・バナナ・りんごが並べられ、コーヒーでも飲みながらゆっくりと診察を待つ。
 といっても、高級病院は、医師が患者を待っている状態。
 診察の為に、何時間も待つというのは、30パーツ医療していいのような公立病院。
 私立の一流病院と言うのは、待ち時間は、ほとんど無いと考えてよい。

バンコクパタヤ病院に診察に来た理由は、尿酸値を計りに来ただけである。
 前回の健康診断で、基準値7を超えていたので、今回は・・・と思って来院。
 もちろん、自覚症状も何もなし。
 4月以降、少しは、ビールを控えていたが、結局はいつの間にか元通り。
 しかし、自分では、「浴びるほどは飲んでないから、少しは下がっているだろうと言う期待感アリ。」
 採決後、30分後に結果が判明。
 8.4という数字。
 2005年から毎年、この病院で健康診断をしているが、まさに、右肩上がりの状態。

支払をして帰るとき、ショッキングなことが・・・「病気ではないから、A I Aの保険は使えません。」「2975パーツです。」・・・高い-----
 医師と3分ばかり話して、採血して、その結果を聞いて、3000パーツとは、さすがだと思った。
 この馬鹿高い病院代のお陰で、本当にビールを飲まない決心がついた。
 この国で、病院にお世話にならなければいけないことになったら、しかも、風邪など、1回や2回の通院ではなく、慢性疾患で定期的に病院に通う状況になったら大変だと思った。

ちなみに、バンコクパタヤ病院・・・内部に、入国管理局はあるし、A T M機も何台もある。
 5星病院と言うけれど、行きたくない・近寄りたくない場所がまた増えた。



もう一部屋も・・・

2007,10,12



過大内装投資をした方の部屋にも、借り手がついた。
 投資した割には、「1パーツも見返りが無い。」とこぼしていたのもつかの間、あっという間に、二部屋共に、借り手がついた。
 嬉しいことに、「値下げしなければ、借り手が見つからないかもしれない。」と覚悟していた矢先に、設定した値段で、借り手がついたことが嬉しい。
 2部屋共に、「投資金額÷100が、月々の家賃純利益収入」と言いたいが、共益費200パーツ/月と事務所手数料200パーツ/月の合計400パーツを借主が支払う家賃から差し引いたら、100で割った収入というのは、難しい。
 やはり、購入価格が高めだと、100で割った金額=月々の収入というのは、難しいらしい。
 いかに、安い価格で購入するかが、最大のポイントであろう。
 ポロポロで、何も手を加えていない部屋を買い、最低限の内装をし、安めの家賃で貸し出すというのが、最も効率的であるということがよく分かったので、安い部屋が出たら、すぐに購入したいと思う。

最近、老後のこと、早期リタイヤのことをよく書いている。
 公的年金もそうだし、私的年金や不動産所得もそうだが、年を取ると「お金や自分の財産に働かせ、自分は働かない。」というのが、正解である。
 ゴミコンドが、せっせと働いてくれ、お金を運んでくれるのを切に希望する。
 まあ、リスク分散ということで、5部屋ぐらいで、辞めようと思っはいるが・・・



原因不明

2007,10,7



歯が痛くて、歯医者に行った。
 タイで、歯医者に行くのも慣れたものであり、掛かりつけ歯科医師もいる。
 掛かりつけと言っても、ほとんどは、歯石取りに年に2-3度行くくらいのものである。
 それでも、外人だから、医師も僕の顔をしっかり覚えていてくれる。
 中味は、何を書いてあるのか知らないが、一応、カルテもある。

さて、歯が痛いので、当然虫歯だと思い、「歯が痛いので、診てください。」とかかりつけ医に伝えた。
 なんせ、痛くて、物がかめない。
 上の歯の一番奥だから、自分で確認したわけではないが、多分、大きな虫歯になっているとばかり思っていた。
 ところが・・・・・・医師が驚くべき事実を告げた。
 「何の異常もありません。虫歯も見当たりません。」
 これには、びっくり返った。
 実は、歯科治療は、いくらかかるか分からないから、ATMによって、かなりのお金も準備したのである。
 ところが、「何でもない。」と言われて、拍子抜けである。
 じゃあ、食事を噛めない痛さは、何処から来るのか?と思う。
 それより、口を開けて、「虫歯を見てくれ」と言った手前、「何でもありません。」「あっそうですか・・・・」と言って、そのまま帰るのも何だと思い、「じゃあ、歯石取りをお願いします。」と言ひ、いつも通り、歯石を取り、帰宅した。
 歯石を取っている間も、もし、歯に異常があったら、痛いはずだ・・・・と思い、神経を集中しているのだが、いつもと変わらず、痛みも無く終了した。

歯が痛み出して、噛めなくなってから一週間・・・・・・医者に異常なしと言われて、3日が経過するが、やはり、同じように物が噛めない状況が続いている。

原因不明というのは、怖いことである。
 しかし、痛いことは、間違いない。
 どうも、歯と言うよりも、歯茎の奥が痛いのではないか?という感じもするが、現時点では、原因不明である。

食事をするたびに、「やっぱり、痛いかな?」と思いつつ、恐々と食べ物を口にする日々が続いている。

最近、老化を感じるようになってきているが、やはり、若い時と違って、色々な箇所で、身体のメンテナンスや修理が必要な年齢に突入しているのかもしれないと思った。

60代は、現役です。

2007,10,5 

60代の日本人は、何て元気なのだろうと思う。

定年は、60歳という常識もなくなったのだろうか？

タイで活躍する日本人も、日本社会で、役職定年・定年を向かえ、第二の活躍の場として、タイで働く人を多く見かける。

また、本社から、助っ人が短期間で来る場合も、60歳を超えた人が海外出張でタイに来社するケースが多い。

40歳代、50歳代と比べて、役職はないが、経験と技術があるのだろう。

今、40歳前で、「早期リタイヤ」だの「給料は安くて良いから、楽な仕事」だの言っている自分が恥ずかしくなるほどだ。

20年後、自分は働いているか？と考えたら、絶対にNOだと思う。

ちなみに、自分の父親も、今まだ、バイト程度であるが、働いている。

「働く場所があるうちは・・・」「来てくれと言ってくれる人がいるから・・・」「ボケ防止の為」場合によっては、「経済的に、働かざる得ない」理由は、人それぞれだろう。

僕は、外国へ出て、パタヤで特にファランを見ているので、「自分が働かずとも、自分が残した財産やお金が働いてくれれば、リタイヤする。早くリタイヤできるほど、良いのだ。」という価値観を持ちつつある。

子供が居ないので、後に残すものもないので、自分の生活だけを考えれば良いので、楽と言えば楽だ。

タイに住んでいるからこそ、「タイの生活を大事にしたい。」と思うし、「タイの生活とは、仕事以外の生活」を指すような気もする。

それにしても、60歳代は、元気だなーと思う。

ちなみに、福田総理大臣も71歳という年齢のようである。

71歳で、国の内閣総理大臣になるというのは、やはりすごいと思う。

秋の気配

2007,10,4 

涼しくなってきたタイランド

年々、ちょっとした気候の変化に敏感になってきた気がする。

以前は、寒い・涼しいといえば、クリスマス前後のほんの1 - 2週間だった気がする。

10月に入った今日この頃、肌寒さを少し感じると同時に、「早く日が暮れるな」とか、「風が涼しいな」と感じるようになってきた。

タイの季節感といえば、「暑い・非常に暑い・我慢できないくらい暑い」の3つの季節だと思っていたが、最近では、ちゃんと季節もあることを認識しつつある。

夕方の風の涼しさを感じる10月である。

一番目の顧客

2007,10,2 

ゴミコンドに借り手が見つかった。

なんと、驚いたことに、内装に十分にお金をかけ、最低限必要であると思われる家具を揃えた最初の部屋は、借り手が2ヶ月以上付かず、床にタイルを張り、壁の色を塗り替え、扇風機だけを壁に付けただけの家具が一切無い部屋に借り手が先についた。

つまり、何もない部屋 = 安い部屋が、改装後、2週間で借り手が見つかり、自分が住むかもしれないと思い、トイレの便器や壁・ベランダまでを含めて内装をした部屋は、2ヶ月以上も、借り手が見つからない。

「顧客の要求事項」「市場調査」等、ビジネスをする上では、耳にする言葉だが、なるほど、こういうことかと実感する。

しかし、この二つの部屋の賃貸料金の差は、たったの500パーツである。

たった500パーツの違いなら、新品家具付きで、内装もトイレも綺麗な部屋に住みたいと思うのは、僕だけだろうか？

ベッドも洋服ダンスも何も無い部屋で、どうやって寝るのか？ということ自体が疑問である。

改めて、タイにおける500パーツという金額について考えた。

確かに、工場で働いていれば、朝昼と工場の食堂で食べた場合、丁度、1か月分の食費に相当する金額である。

麺類15パーツ、おかず12パーツという金額を考えれば、500パーツは、1ヶ月の昼食代となるという考え方もある。

分かったことは、500パーツの金額の差で、部屋を決断しなければいけないレベルの人を相手にしているのだから、500パーツや1000パーツが高くて、綺麗な方が良いと言う発想の生活レベルの人は、顧客（借り手）の対象とはならないコンドである。

確かに、ある程度の賃貸料金を出すのなら、もう少し、まともなアパートがあると思うし、それ以上、払える人なら、とっくに買っていると思う。

コンドの管理事務所が管理しているので、借りた人が誰かも分からないし、家具も無くて、「どうやって暮らすの？」という質問をしたいが・・・

やはり、このコンドは、自分の価値観・生活とは切り離して考え、「投資物件」と考えるのが妥当であろう。

ゴミコンドの最終見解としては、下記の通りである。

1. 変に内装をしていない、ポロの安い部屋を買う。
2. タイルを取替え、壁にペンキを塗り、とりあえず、綺麗に見せる。
3. 売値が安ければ、買う。（無理して買わない。売れ残り、下がるのを待つ。）
4. 出来るだけ、安い賃貸料で貸し出す。

これが、正解のような気がします。

バブルがはじけて、一気に売りが増えたら、そんな時は、もう何部屋が買いたと思います。

目標は、月の家賃収入が1万パーツというところでしょうか。



最近、翻訳の副業をやった。

7枚の文の翻訳でタイ語 日本語である。

正直、最初原稿を見た時は、「できないかもしれない。」と思い、依頼者に、「ごめんなさい。」と断ろうとも考えた。

事実、少なくとも17時までは、会社に拘束されているので、それ以降にする仕事であることを考えると、論文形式の文章の7枚の翻訳は、ちときつい。

こんな週に限って、土曜日まで仕事だし・・・本当に、どうしようかと思った。

それでも、17時以降に、通常の仕事ではない仕事（翻訳）を行い、帰宅後も、ビール片手に読み進み、日曜日の午前中いっぱい何とか仕上げた。

さすがに、8時間バッチリ仕事をし、その後、翻訳の仕事をさらにするというのは、頭がオーバーヒートするような感じも受ける。

今回の、副業を通して、二つのことを実感した。

ひとつは、「タイで、1000パーツ稼ぐって、大変な事なんだー」ってこと。もう一つは「タイ語を読んで理解することと、綺麗な日本語文章を作ることとは、全く別であること。」

翻訳という仕事は、対価が、結構安いと思う。

A4の用紙、1枚で1000パーツをくれるところは、まずない。

自宅で、空いた時間にできることを考えると、「妥当な価格」ということになるのかもしれないが、ズバリ、僕の感覚からすると安い。

頭の中で、原文を理解し、日本語に置き換え、文法や「て・に・を・は」を考え、文章を作り、その上で、タイピングする。

頭もいっぱい使う仕事だと思う。

今回の翻訳で、思ったことは、週に2-3枚のペースなら自分の勉強の為にやりたいと思った。実は、こづかい稼ぎが大きな目的であるが・・・

確かに、会社の仕事だけで、十分な給料をいただいているが、こういうちょっとした副収入は、非常に嬉しいお金である。

特に、僕の場合、残業をしても、何をしても毎月、一定額なので、こういう「小遣い」は、すごく嬉しい臨時収入である。

翻訳で多少のこづかいが稼げるとしたら、やはり、早く「セミリタイヤ」して、ご気楽職場で、ほどほどの副業をし、十分な休日と休息时间のあるパタヤ暮らしがしたいと思う。（結局、この話に、結びついてしまう。）

ちなみに、一時、「盲人マッサージ開業」を考えていたが、今は、「給料が安い、ご気楽な仕事」をし、「ゴミコンドの収入」と「多少の翻訳の収入でもある。」生活を送ることが、最もサバァイな生活ではないかと考えるようになりつつある。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

11月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

チェンライの求人

2007,11,30

現在、駐在員待遇を頂いているので、別に転職しようという意識はない。
最低でも、来年末までは、お金を貯める為に、今の会社で・・・と思っている。
実際は、収入もBIGだが、支出もBIGなので、思っている金額には、到底達しない。

転職意欲は、ないのだが、今日、偶然にも「チェンライの求人を見つけ、ビビットきてしまった。」チェンマイの求人は、たまーに、見かけるとして、チェンライの求人は、ほとんど見たことが無い。

人間、無いものねだりなのかもしれないが、「海に住んでいるから、今度は、山に住んでみたくなった。」というのも実感である。

来年の今頃だったら、飛びついているかもしれないが、今は、「経済的に、考えて転職するわけにはいかない。」と思っている。

しかし、こういう気持ちと言うのは、ちょっとした事から、「バツ」と火が付いてしまうものである。

まあ、何だかんだ言っても、あと1年は、平和なこの田舎生活を送るのでしょう。

灯籠流し

2007,11,24

11月24日はタイの灯籠流し（ローイ・クラトン）

タイ生活も、最初の年は、「タイの有名な祭りだ」などと考え、興味深々であったが、数年も立つと、「人ごみがうざい。」などと考えるようになり、どうでも良くなってしまふ。

しかし、「人ごみがうざったい。」という気持ちのお陰で、めちゃくちゃサバーイなローイクラトンの日を過ごした。

過ごした場所は、ジョムティンビーチ。

最近では、ジョムティアンビーチ沿いに、照明もあり、かなり明るい。

夜でも、椅子が出ており、座ることが出来る。

ビーチでビールとつまみを食べながら、夜風にあたる。

サバーイとは、このことである。

灯籠流しもそうだが、熱気球の小さいバージョン（コーンファイ）や花火が非常に綺麗である。

夜のビーチも、良いですよ。

だって、パラソルないし、風は、気持ちよい。

観光客で、ゴーゴー巡りをしていた時には、絶対に味わえなかった楽しみ方かもしれない。

お勧めの夜の過ごし方です。

-



東北への冠婚葬祭

2007,11,18



部下の結婚式に行ってきた。

イサーンまで8時間・・・往復16時間・・・疲れた。

友人に聞いたら、「日本人でそこまでする人はいないよ。」だって・・・

確かに、会社で働くものとして、「部下の冠婚葬祭」は、重要かもしれない。

しかし、遠方までとなると、話は別物かもしれない。

「行くべきか、どうか」は、別にして、大多数の日本人は、「お祝い金」だけというのが、実情ではないだろうか。

お祝いに参加したい職員が同行の為、総勢14名の大旅行となった。

ミニバスを貸しきって行き、1台で乗れる人数は、14 - 15名が限度である。

その限度いっぱいでの旅。

バスの中は、ディスコミュージックで大音量。

カラオケをするもの、大音量の中で、寝る人、友人と携帯電話で話すもの、ビールを飲む人・・・バラバラ・・・それでも、楽しい旅。

気の合うもの、知り合うもの同士、大人数で・・・タイ人が好む行動パターンである。

当然のことながら、会社の仲間で行ったとしても、仕事の話は一切無し。

ただ、大音量の音楽と、美味しい食事、つまみ、酒・・・それが、あれば楽しい。

ふと、われに返ると、「中味が何にもない。」とってしまう。

でも、「楽しければ、良いじゃん。」と考えれば、こんな気楽な旅は無い。

ちなみに、この日記にも時々書くが、「タイ生活、人にあげるわけが分からないお金が一番多い。」と言う。

まさに、このことである。

14名分の旅費（バスは、1台か仕切りだが、ホテル代から、食事代や酒代）は、日本人である僕が全部負担。

嫌なら、なんとしても、断ればいい話だから、当然、最初から出費は覚悟の上。

14名の2泊3日の国内旅行を負担しても、毎月の給料の残高に問題がないことから、いかに、この国では大変な給料をもらっているか分かる。

ちなみに、スケジュールは、こんな感じ。

会社終了後、そのままイサーンへ
コンケン到着は、深夜12時過ぎ。
そこから、ディスコへくりだす。

翌日は、イサーン観光
夜は、再び、夜遊び。

その次の日曜日は、7時ホテル発で結婚式に参加。
新郎の家から、新婦の家まで、大音響の車と共に、踊りながら行進（朝の9時です）
あまりの大勢の参加者の為、式の間は、外のテントで、大宴会。
見たこともない安いビールが各テーブルに並ぶなか、外国人である僕のテーブルは、ハイネケンが振舞われる。
12時に、引き出物の毛布をもらって、帰る。
自宅到着は、夜の10時。

鬼のようなスケジュールであると言いたい。
人数が多いから、ホテルも、節約ホテルで、お湯も出ないホテル。

大勢で行くと、楽しいとはいえ、一日中、大音響というのは、さすがに堪える。
楽しい思いと引き換えに、「疲労が残る」30代後半の身体である。



円満退社

2007,11,13



「円満退社」ができるということは、非常に素晴らしいことであると思う。
日本でも、会社を退職する際に、ゴタゴタする場合があるかもしれないが、タイは、本当に辞める際のゴタゴタが多いと思う。
「円満退社」なんて、あり得ないと言っても、言い過ぎではないのかもしれない。

日本人も同じかもしれないが、「お金が貰えるうちは言うことを聞くが、お金がもらえなくなったら、途端に、関係のない人」になる。
そりゃ、お金の為に、働いているし、給料がもらえるから、会社や上司の言うことを聞くというのは、当たり前のことである。
しかし、「義理・人情」の無いタイでは、態度が豹変するのも「露骨である。」

工場のワーカーのレベルでは、「バックレ」・・・つまり、いきなり、消えることは、珍しくも何とも無いことである。
大卒のスタッフレベルでも、円満退社は、非常に少ない。
会社から辞めてもらう場合は、「お金で解決する」という手段を取る。
自分から辞める場合でも、最後は、問題を残すことが多い。

今日も、こんな出来事があった。
退職届は、出ているが、退職日の2週間も前から、来なくなった。
無断欠勤であれば、給料を払わないだけのことだが、E-MAILで、「病気です」と連絡が入った。ちなみに、E-MAILで連絡が入った日は、送別会の日で、本人は、当然、その会に出席し、酒を飲み、カラオケで深夜まで遊んでいた。

にもかかわらず、人事課に、「病欠です。」などとメールを送ってきた。
人事課が、電話しても、出ない又は、出るが何も話さないを繰り返す。

秘密の無いタイランド、違う会社に勤務し始めたこと・会社名も含めて知っている。

問題は、退職日がはっきりしないだけである。病欠であれば、給料を支払わなければならない。最終日は、いつにするのか、事務処理も困る。最終給料支払日は、いつかも分からない。

大卒である彼女の魂胆は、分かっている。
病欠だと言い、退職日を延ばせば、新しい会社と古い会社の二重に給料が手に入る。

だから、会社から電話しても、出ない。つまり、逃げまくるのである。
証拠がなく、「病欠」とっておけば、通るであろうという魂胆。
しかし、会社としては、最後がうやむやになるのも、嫌なので、最後の手段として、新しい会社に電話した・・・電話口で無言を続ける。
新しい会社宛に、電話した直後に、逆切れして電話がかかってきた。
「すべてクリアにしたのに、不愉快である。」

会社側から言わせれば、制服、社印証も、ロッカーの鍵も返却せず、退職届の退職日まで、まだ日数もあるが、違う会社で働き始め、欠勤を続け、「すべて解決済みだ」と逆切れする。
僕からすると、「理解不能」としか、言いようが無い。
但し、「追い詰められると、逆切れする」ということは、タイ人の共通のパターンだと思う。
また、「お金が絡むと、理屈も何も無い。」ということも、共通する。

確かに、辞めるんだから、「過去の会社なんて、どうでも良い」し、「少しでも、筆り取りたい。」と思うことも理解できる。
ただ、「やり方、というものがあるだろう。」と思えて仕方が無い。

タイで、働いて何年か経ち、こんな出来事にすっかり慣れて、「まあ、こんなもんだろう。」と思う自分の方に嫌気が指す。
前なら、何で、こんなことになったんだろうと悩んでいたかもしれないが、今は、「考えるだけ、無駄である。」ぐらいに思っている。

だって、ここは、外国で、僕が、異国人なのだから・・・・・・・・



連続して泥棒に・・・・・・・・

2007,11,12



タイは、思いもよらぬものが、盗まれる。
会社のエアコンの室外機のねじが盗まれた。
50機のうち、48機分のねじが、気がついたらなかった。

僕の車のタイヤの空気を入れるところのネジが盗まれた。(空気を入れるときに、気がついたので、いつ盗まれたかは、不明)

いやはや、思いもよらないものが、盗まれるものである。
ちなみに、バイクのガソリンも、盗まれた。
無理やり、椅子のところをこじ開けて、ガソリンを抜いていったので、ガソリン代より、椅子(バイクの座るところ)を修理する方が高くなる。
本当にいい迷惑である。
ちなみに、満タンにしていたとはいえ、推定被害金額は、70バーツ。

そういえば、景気もあまりよくないようで、工場の閉鎖のニュースも聞く。

何かを盗られるだけなら、「笑って済ませられること」である。

身の危険を感じるようなことが起きなければ、良いと思う。

そういえば、利息が高いと言う理由で、貯金は、ほとんどパーツだし、コンドとかもタイで買っている。一応は、タイという国を信用はしているつもりである。しかし、立て続けに泥棒の被害に遭遇し、政局の不安定さや、経済のことを考えると、他の通貨で、貯金することも考えた方が良くかも知れないとふと思った。

しかし、円で貯金しても、増えるはずもなく、ドルも、なんか縁が無い感じで、タイにいるから、パーツが増えるのが、一番嬉しいと言う単純な結論に達してしまうのである。

- -



階級

2007,11,11



最近、ふと感じることがある。
貧富の差・階級の差というものである。

平日、仕事をしていて、車で帰宅の途中、ピックアップに大勢詰め込まれて、1日の仕事を終え、家路に着く人たちを見ると「生活が大変そうだなー」って思う。
ところ変わって、パタヤに帰って、ジヨムティアン沿いのシーフードとか行くと、高級車に乗ったタイ人がドンドン来る。

観光客向けのウオーキングストリート沿いは、最近、行かないからかもしれないが、何故か、タイ人の金持ち組が目立つ。

そして、フィットネスに行くと、これまた、金持ちタイ人があふれている。

確かに、肉体労働をしている人は、休みの日に運動をするどころか、身体を休めなければいけない人たちだろう。

若い子達も、会員となっているが、見ただけで、「育ちのよさ」が分かる。

すごく不思議なのは、「貧乏人」と「金持ち」は、何故か身体からにじみ出るものが違う。

フィットネスに来ている人で、貧乏人は、「ほぼゼロ」だろうという固定観念もあるが、やはり、どうみても、「金持ち臭がする。」

タイ人が瞬時にして、「相手の階級」を見分けるという意味も、最近、分かってきた。

貧乏人は、どんなに着飾っても、何故か分かるのである。

ちなみに、ダムさんは、どう着飾っても、貧乏人に見えるらしい。

本人が、一番、承知していることで、金を付れたり、高い洋服を着たりしているが、どうも、変わらない気がする。

階級差を感じる度に、自分は、外国人でよかったと思う。

一応、階級の枠の外に居る気がするからだ。

タイ人から見ると、分からないが・・・

- -



品質が良くて、高いものは、売れない

2007,11,9



ゴミコンドの高い方の部屋（内装と家具に金を注ぎ込んだ為、家賃が高くなった部屋）に借り手がついたと喜んでいたら、1ヶ月で出て行った。

多分、同じコンドの中の安い部屋に移ったのだろうと予想される。

日本人の僕にとって、家賃が500バーツくらい高くても、「綺麗で、家具のある部屋」に住む方が断然よいと思うが、タイ人は、全く別の考え方のようだ。

いずれにしても、どうも高い部屋は、「家賃を下げて、超お買い得価格で貸し出すか」「自分で住む」しかないようだ。

隣の部屋でも、売りに出されれば、二部屋続きで購入し、自分で住むと言う選択肢もあるかもしれないが、今の段階では、土日だけと言っても、やっぱり嫌だ。

何より、泥棒に入られる気がする。

ゴミコンドに用があって、寄った後に、自分のコンドに到着すると、「やっぱ、違うよなーって思う。」そりゃ、値段も、何倍も違うのだから、当然といえば、当然である。

最近、仕事が、なくて困っている。

どうも、日常業務一般は、僕が指示をしなくても、タイ人が率先してやるようになったと言っても良いであろう。

そろそろ、自分の進退を考えねば・・・なんて、冗談で思ってしまう。

まあ、今まで、苦労したから、1年ぐらいは、「給料泥棒をさせてもらおう。」などとも考えている。



耳パン

2007,11,7



ビールを控えてから、体重が落ちた。

ビールによる身体中、水分だらけの毎日・・・アルコールを分解する為に、かなり身体に負担をかけていたんじゃないかなーって考える。

健康の為に、ビールを控えていると言うより、医者に言われて控えていると言うより、

「馬鹿高い医療費がもったいなくて控えている。」というのが、本音であるが、何がともあれ、1日に缶ビール1本で済んでいる。

何より、ビールを控えたことにより、「無駄使いのない生活を過ごせている。」というのが、正直良い事である。

日本で、小沢民主党党首の辞める・辞めないのニュースがタイでも伝わっている。

日本人は、本当に分かりにくいと言うか、複雑だな　と思う。

責任ある立場の人が、「一旦、辞める」と言ったのだから、「辞めれば良いじゃん」と思うのは、僕だけだろうか。

お金もある程度あって、隠居しても、元　党党首とか、元自由民主党幹事長という肩書きがあれば、それで良いんじゃないかなーって思ってしまう。

総理大臣の年齢にしてもそうだが、日本人は、「働けなくなるまで働く国民」なんであることを実感。

懐かしく思い、「耳パン」を購入した。

ヤマザキパンに、「耳パン」が売られている。

サンドイッチの切れ端といえば、分かりやすいが、僕は結構好きである。

まず、切れ端なので、香ばしい。

そして、ステック状になっているので、食べやすい。

「くず」であるから、色々な種類のパンが混ざっているので、色々な味を楽しめる・・・等の理由がある。何より、安い。

ヤマザキのパンは、コンビニのパンより値段が高いから、耳パンは、15バーツで、こんなにいっぱいあるーなんて、喜んで、「ほら、ダムさん、これ、15バーツだよ。安いよねー」って言った

ら、ダムさん、怒り出す。

「そんな、魚のえさ、誰が食うんだー」って。

「魚のえさ？」・・・そういえば、魚の餌付けで、安いパンを買って、魚にあげたことがあったような気がする。

一応、朝食用として、購入したのだが、予想通り、ダムさんは、一口も食べず、朝のニュースを見ながら、一人パクパクと食べているのは、僕だけである。

あまりの量で、半分以上捨てる羽目になった。

そんなに差別しなくてもいい気がするけどなーーーーーと思った。



嫌な出来事

2007,11,5



言いたくはないが、低階級の人とは、話もしたくないと思う出来事があった。

事の発端は、運転手のOTである。

運転手と言わず、会社の従業員は、週に36時間を超えての労働を禁止されている。

労働保護法にもはっきりと記載されている。

規定時間以上の残業(36時間)をしたので、週末は、代理の運転手を起用し、OTが36時間を超えないように調整した。

その結果、運転手は、怒ってしまった。

担当者が、「法律で、36時間を超えてはいけない。」という説明をしても分からず、労働保護法を見せても、「他の会社は・・・」という始末。

法律は、分かるが、「OTをしたい。」「収入UPに協力しない。」という主張。

「理解はするが、納得はしない。」ということで、「他の人が、代理でお金を受け取れば・・・」とか、「日本人が、直接払えば・・・」とか、訳が分からないことを言う。

労働保護法を見せて、読ませても、駄目・・・「理屈は、通じない人たちなんだ。」と実感。

妊婦の例を取り、「妊婦もOTをしたくても、法律で禁止されているからできない。」と説明するが、分かった振りをするが、ブツブツ・・・

何で、僕が、「この人たちに、細かく説明しなければいけないのか？」と思うと、馬鹿馬鹿しくなってきた。

言葉が分かり、タイ人すべてと一応は、対等に話ができることは、嬉しいが、タイの「嫌な一面を見てしまった。」と思った。

また、差別的な発言になるが、低階級の理屈が通じない人とは、関わりあいたくないと思う出来事であった。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月 次の月

12月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

いつもの生活

2007,12,31

今年最後の日だということに、何の実感もなく、いつもの生活パターンを繰り返す。
 フィットネス・マッサージ・・・まあ、パタヤに住んでいるからこそその良いところで、遊びに来た友人と食事をし、日中は、自分の行動パターンで過ごせたりする。

年中暑い国に居るので、季節の変化はもちろんのこと、師走や新年といった節目も、「なんでもない出来事」と感じるようになる。
 まさに、「タイボケ」かもしれない。

今年は、全体的に、良い年だったとは思いますが、高給と共に、プレッシャーを受け、ストレスの為、酒びたりになった日々だった。
 まあ、経済的に恵まれている生活を送っていることが、何よりもありがたい年である。

来年も、良い年でありますように・・・

日本人が、日本人を・・・

2007,12,30

年末に物騒な事件を聞いた。
下記新聞記事である。

26日にタイ東部チョンブリ県サタヒーブの林の中で見つかった両手足を切断された男性の遺体の身元が、東京都の不動産会社経営、中園浩さん(67)である可能性が浮上し、タイ警察が身元確認を急いでいる。

中園さんは12月14日、現金350万円を持ちスワンナプーム国際空港からタイに入国し、その後、行方がわからなくなった。タイ警察は18日、中園さんを空港で出迎えたとみられるチョンブリ在住の日本人男性(53)宅を家宅捜索し、現金350万円などを発見。この男性の取り調べを行っている。

詳細は、分からないが、日本人男性が不動産購入の関係のトラブルで同じく日本人に殺害されたということです。350万円という金額からの殺人事件に驚きを隠せない。

海外に住んでいると、同じ日本人だからと、日本人であると言うだけで信用してしまうことがあるが、怖いものである。



あと1週間

2007,12,24



あと1週間あまりで今年も終わりとなる。

振り返ってみると、「なんとストレスの多かった1年だったろう。」と思う。

タイに来タイした当時は、「タイの不思議」ばかり目に付いていた。

ところが最近では、「変な現地日本人」にやたらと遭遇する。

タイの地方で働いてもよしとする日本人は、なんと変わり者の多いことか・・・癖のある人間とでもいうか、常識が無い人間とでも言うか・・・

タイ人ならば、「タイ人だから・・・」という理由で、「変な人」を納得することは可能だが、日本人となると、そうもいかない。

1年を通じて、ストレスを感じた日々だった。

なあ、自分も含めて、変わり者だから、「日本からタイへ移住？し、旅行者の域を超えて、生活している」ということで、一般の日本人から見ると、かなりの変人であるということか？しかも、バンコクから離れれば離れるほど、その傾向は強まる。」様な気がする。

変な日本人と遭遇するにつれて、日系会社で働き続けるというストレスも増えていく気がする。

そんな理由もあってか、「早期リタイヤは、いつできるか？」って事ばかり考えていた1年だったと思う。

「将来、楽をして暮らす方法をずっと模索していた。」ということも言える。

年末だからというわけではないが、無理やりまとめようとしたら、何歳になったら、早期リタイヤできるか？いくら貯金ができれば、早期リタイヤして良いか？という結論は、「一生かかっても答えが出ない問題である。」ということが分かった。お金のこと(生活費のことは、)「多分、計画(計算)どおりにはいかないだろう。」という事もあるが、「現状の生活環境は、総合的に考えると恵まれており、簡単に捨ててはいけない。」ということ。

そのくらいが、まとめであろう。

ゴミコンドをもう 室程買って、家賃収入で楽々暮らす。

(給料)賃金は安くても良いから、ご気楽な仕事をする。

後者の方が現実的である。

ビザの為に、仕事はしたいが、収入が何分の1とかにまでなることを覚悟できるか？が鍵となる。

夢や希望の裏には、「仕事をしたくない」「サラリーマンで居ることに疲れた。」「せっかくタイで生活しているのだから、のんびり生活したい・やりたいことをやりたい。」ということが、動機であるが、さすがに若い頃と違って、「勢い」で決断することでもない。

まあ、来年も、同じようなことを考えながらの1年となるのだろう。

 労働条件を知る2007,12,23 

ついに、ヒアリングに成功した。
盲人マッサージのマッサージ師の収入について・・・
行きつけの盲人マッサージは、とにかく大繁盛。
機会があれば聞こうと思っていたが、なかなか機会に恵まれず。
これだけ入れば、どんな商売でも儲かっているはず。
タイの場合、分かりやすく、オーナーは、スポーツカーを運転しており、車も知っているだけで、3台所有。さぞかし使用人（盲人マッサージ師）には、安月給で、自分の取り分は、多めに・・・という予想はしていた。
しかし、聞いて驚き！盲人マッサージ師側（被雇用者側からすると）予想を超える悪条件。
まあ、雇われている者・被雇用者は、報われないというのが、タイの常識的なところだから、どうしようもない。

「自分が開店すると仮定しての条件」は、既に頭に描いてあった。
しかし、程遠い条件に、雇用条件も変更である。
もし、僕の条件を提示するとしたら、マッサージ師で上手な人は、全員、引抜けるという自信がある。
「もし、自分で店を持つとしたら、番と番と番・・・」と決めている。

一時、外国で自営業なんて、大変だ・・・と思っていたが、この雇用条件を聞いて、改めて考え直してある。
ある程度、お客が入れば、「儲かる。」
ある程度とは、どの程度なのか？が問題かな？

 えっ、これだけしかないの？2007,12,21 

ショックでたまらない。
駐在員となったというのに、本社のボーナスは、鼻くそみたいなものだった。
当然現地（タイ）でもボーナスと言う臨時収入は無い。
高給取りが何を言っている・・・と言われたら、それまでのことだが、士気が下がる。

自分が納得すればよい。
不当に低い金額＝評価が悪いんだと思い、「僕の評価表を見せて欲しい。」と言ったが、「回答できず。」
今期は、赤字だから本当に申し訳ない・・・の一点張り。
お金が欲しくて言っているわけではなく、理由が知りたいだけなのだ。

これじゃあ、駐在になった意味が全くないようだ。

まあ、仕方ないかなー。

 今日、欲しい。2007,12,17 

年末ならではの行事が目白押しである。
コンドの定例会（会社で言えば、株主総会）も12月に開催される。
コンド事務所のマネージャーの選抜、代表委員選挙、代表委員のボーナスの決定、決算書の承認、来年度の公認会計士の決定・・・まさに、定期株主総会である。
会社と違って、収入は、各部屋の持ち主が支払う管理費。

年に1度の定期総会・・・去年までは、出席すれば、交通費と称するキャッシュ・バックが2000バーツ。

これは、結構な金額である。

管理費は、400バーツ/月であり、年間4800バーツである。

年に一度の総会に出席すれば、2000バーツがキャッシュ・バックされる。

つまり、計算上は、コンドの共益費は、4800バーツ-2000バーツ=2800バーツ/年間ということになる。

月計算すると、233バーツであるから、ゴミコンドの200バーツ/月と比較すると安く感じる。

だって、メンテナンス・警備員・掃除婦・庭師を考えると、サービスの差は歴然である。

この定期総会の案内は、すべてタイ語で公示され、タイ人が同居していなく、外国人だけの場合、何がなんだか分からない。

外国人は、4800バーツ払ってくれってことだろう。

まあ、総会に出て、オールタイ語であるから、やむを得まい。

実際に、総会においては、外国人の顔は少なく、ほとんどが、タイ人居住者である。

たまに、外国人を見かけても、話の内容が全く分からず、途中でほとんどの人が出て行く。

タイ人出席者の中には、委任状を手に部屋の持ち主から雇われていると思われる人も居る。

どう考えても、「午前中、ペンキを塗っていた。」という風貌のお兄ちゃんが、会議が終了して、2000バーツを貰うことだけを待って黙って座っている人も、ちらほら。

2000バーツのうち、このお兄ちゃんに500バーツで、部屋のオーナーは、1500バーツかな？とか、いや、折半で1000バーツづつかな？なんて考えながら、お兄ちゃんを見ていた。

事件は、総会の最後に起こった。

毎年恒例の総会出席者への交通費と言う名目の元に支払われるキャッシュバックは、今年からないという通知。

その代わりに、出席者は、来年の管理費から2000バーツを割り引くということ。

一瞬、「頭いいやり方だ」と思った。

タイならではのと思うが、管理費滞納者は、山ほどいる。

毎年、きちんと管理費を支払い、年末の総会に出席し、交通費の2000バーツを貰う人もいれば、管理費を払わずして、総会に出席し、2000バーツ儲ける人もいる。

事実、決算書の「未納管理費」（債権）の箇所には、驚くべき数字が載っている。

どうやって、何年分も滞納した未払い管理費を払うのかといえば、売却時に、一気に徴収するのである。

そうであれば、この方法は、「キャッシュフロー」を考える上でも、「未払い金の低減」ということを考えても、良い方法であると思った。

本当言うと、2000バーツ儲けて、焼肉でも食べに行こうかとおもっていたが、当てが外れた・・・というところなのだが、来年の管理費が安くなると聞いて、内心喜んだ。

ところが・・・タイ人は、納得しない。

2000バーツの現金を貰えると思って、会議に出席したのだ。

2000バーツが無かったら、日曜日の午後、誰が出席するものか。（実は、僕も同じなのだが）

収集が付かないくらいのブーイング。

2000バーツの恨みは恐ろしい・・・結局、自分に戻ってくるとはいえ、「今日、貰えると思った。」

「今日、欲しい。」というのが、タイ人の心情。

将来発生する費用と相殺しましょう・・・と言われて、納得するわけが無い。

収集が付かない中、マネージャー - が言った。

「これは、私が決めました。お金の使い方は、マネージャーが決めます。私は、選挙で民主的に選ばれま

した。お金の使い方は、ひとつひとつ部屋のオーナーに承認をもらう問題ではない。もし、不服があるのなら、来年の選挙でマネージャーを変えたらいい。」
この一言で、一同シーン。

その後、あっという間に人は、帰っていった。
僕は、素晴らしいと思うのだが、ほとんどのタイ人居住者は、不満・不満・不満。
そして、怒・怒・怒。

いやはや、タイらしさを感じたひと時であった。



禁酒日のはずが・・・

2007,12,16



2006年9月20日（日にちが間違っていたらごめんなさい）のクーデター発生から1年と少し・・・やっと、総選挙が行われることになった。

総選挙の日にちは、12月23日。

不在者投票というか、田舎に帰省しなくても、他県で投票できる選挙日が、12月15日と16日である。

「ルアック・タン・ノーク・ケート」と言われ、日本語で直訳すると「選挙・外・地域」となり、「他県（他地域）投票の日」とでも訳しましょう。

あくまでも、メインの投票日は、12月23日である。

12月15日・16日は、あくまで「他県投票の日」に過ぎない。

しかし、アルコール販売は、2日間禁止という公示が出され、パタヤのバービアも、閉めているところがほとんどだった。

当然、スーパーやコンビニでも14日の18時からアルコール販売が全面禁止となった。

「こんな日は、禁酒だ-----」と思っていたが、コンド内の雑貨屋で水を買うときに、つい、聞いてしまった。

「今日は、ビール売らないでしょ。」

答えは、「売るよ。」って・・・ありや-----。

せっかく、禁酒ができると思っていたのに、「禁酒日」とはならず。

「法律が、隅々に行き渡るって、この国では、非常に難しいことである。」ことを実感すると共に、ユルユルタイランドを心地よく感じる。



冬は、終わったの？

2007,12,15



今年は、タイの寒い季節が1ヶ月ぐらい早く終了した気がする。

タイで一番寒い季節と言え、12月のクリスマス前後というのが、僕の中での常識だった。

しかし、今年は、11月頃から寒くなり、いよいよ寒いはずに季節である12月の中旬を過ぎた頃から、逆に、「暑さ」を感じる。

冬は通り過ぎたんだろうと思う。

何処で、冬を感じるかと言え、

- 1.朝晩の冷え込み
- 2.水浴びが「修行僧のようだ」と感じる時
- 3.プールに入りたくないと思うとき
- 4.夜寝るときに、扇風機を消そうかどうか悩む時

今年は、冬が1ヶ月早かったようだ。

タイ人に聞いても、「今年は、寒くなるのが早かった。」と言っている。

ただでさえ、季節感が無い国なのに、ますます、年末らしさがなくなってしまったようだ。

 役人天国
2007,12,14 

タイは、役人天国だなーって実感。

タイでは、年末にお世話になった人に贈り物を届ける習慣がある。

日本のお歳暮とは似ているが、違う点は、日本は、「包装して届ける」のに対し、タイでは、「盛り籠にして、中味が見えているまま届ける。」ということだろうか。

各スーパーでも、この時期、「お歳暮商戦」といった感じで、入り口のかなりのスペースに盛り籠セットが並べられている。

中味は、お菓子・コーヒー・栄養ドリンク（鳥のスープ）・ウイスキーなのであり、正直言うと、ウイスキーの値段で「盛り籠の値段が決まる。」と言っても過言ではない。

会社が送付する先は、役所関係や顧客と言ったところである。

今年は、僕も、役所に年末の挨拶も兼ねて訪問した。

いやはや、驚きである。

大きな籠盛りを持った会社が、続々と中に入っていく。

5分ほどの入り口に立っていると、5 - 6社と遭遇する。

「役人天国」という言葉を連想するが、このような慣習は、先進国ではありえないことで、ちょっと言葉は悪いが、途上国タイランドを実感させられる光景であると思う。

ちなみに、会社で届ける予定の役所と言え、税務署・社会保険事務所・労働省・投資奨励委員会事務局等・・・しかも、市と県に分かれていたりするので、約10箇所分となる。

僕が知る限り、ほとんどの会社が持っていっているので、年末の盛り籠を持参した又はしないからといって、役所の手続きが有利になるか（早くなるか）は不明だが、まさに、「慣習」という言葉がピッタリのような気がする。

菓子箱一つ受け取らない日本の役人もどうかと思うが、タイもやりすぎではないかと思えて仕方が無い。

 パタヤサウナ事情
2007,12,8 

ダムさんが居なかったので、発展サウナに行った。（どういう理屈だろう？）

センスック・サウナ・・・パタヤで唯一のお仲間発展サウナであると思う。

2回目となるが、1回目は、開店してすぐの時・・・日本人の間でも、パタヤに「淫乱サウナが出来た。」ことが話題となり、「見学の為・・・」と思って行った。

開店当初より、すごく人が増えていた気がした。

180パーツの入場料は、前みたいに、同一料金ではなかった。

26歳以下が100パーツで、それ以上は、180パーツ。

いいアイデアですね。

ちなみに、18歳から22歳は、無料というシステムがあれば、もっと若い子が集まるのに・・・と思う。

ファランとタイ人の割合は、6対4ぐらい。

バビロンと同じぐらいの比率だと思う。

バンコクのサウナでは、見たことが無い表示。

淫乱ルーム・化粧台の横に、タイ語で、「性サービスを売ってはいけない。」と言う表示あり。一言で言

えば、「売春禁止」ということであろう。
この標識に、「パタヤの淫乱サウナ」らしさがにじみ出ている気がする。
外国人を見つける = 金を見つけるという考え方が、根本にある人が多いのかもそれない。
確かに、ファランは爺さんばっかだけど・・・

土曜日の7時ごろのデータ-だが、30人 - 40人ほどの人が居たと思う。
僕が話した子は、28歳でレムチャバンの企業に勤め、北パタヤに在住。

まあ、時間がある人又は、長期滞在を目的とする人又は普通の恋人が欲しいと思っている人は、せっせと
ゴーゴーに通うよりも、良いかもしれない。

逆に、「すぐに食べたい人」「短期旅行で、1日が大事な人」「餓鬼が好きな人」は、そういう場所に行
った方が、「早く」しかも「確実」なんだろう。



久々のBOYS

2007,12,7



何年ぶりかで、ボーイズタウンに行った。
「何年ぶりって、嘘ばかり・・・」と言われそうだが、本当にそうであるから仕方が無い。
旅行者よりも、ボーイズタウンの情報は少ない。
考えてみれば、パタヤ在住と言っても、週末のみ。
フィットネスに行って、サウナに入って、マッサージして・・・夜は、もし飲みに行くとしたら、ジヨム
ティアンコンプレックスが、ほとんどで、スニーが入るくらいである。
だから、ボーイズタウンは、何年も行っていなかった。
この度、在住の友人に誘われて、「たまには・・・」ということで、見学に・・・

あれあれ、入り口を入ると、10年前と変わらぬ光景が・・・（ちょっと大げさかな？）
TOY BOYで、中華系のマスターがどっかり座っており、2年前に良く通っていたサウナ兼マッサー
ジ屋の青年も2人ほど知っている顔があった。
角のBOY BOY BOYは、中は入っていないが、これも、10年前と変わらず・・・いや、僕が始
めて来た頃からあったから、20年前と変わらず。

懐かしのジェントルマンクラブは、嫌に外観が綺麗になり、昔の「怪しさ」がなくなっている。BOYS
TOWNでは、一番若かったのだが、今は????

入店した店は、ワイルド・ウエスト?・・・（忘れた）とか言う店。
Tバック着用で、セクシーだと思うが、さすがに20歳以上らしく、しっかり小さい布から毛がはみ出し
ており、「ツルツル好き」の僕としては、何とも魅力が無い。

但し、スニーと違って、「躰ができている」ということは、理解できる。
餓鬼・野放し・自由奔放という言葉がピッタリなのが、スニー
少し、大人になって、話しもまともに出来て、職業として意識して働いているから、それなりのサービ
スを期待できるのが、こっちなーとも思った。

しかし、「指名したい」と言う子は、居なかった。
残念。



評価

2007,12,6



タイでも、ボーナスというのが、ほぼ慣例となっている。
 その前に、「人事評価」というものを行わなければならない。
 これが、非常に嫌なものである。
 評価する方の立場になっているが、人事評価の後に、お金が関係するので、全くもって、嫌なことである。
 日本人でも、「自分是可以する。」と思っている場合が多いが、タイ人はなおさらである。
 「自分が一番仕事が忙しい。」「私が一番仕事ができる。」と思っているわけである。

当然のことであるが、人事評価をする場合、自己評価から上司評価へとなるわけだが、自己評価と上司の評価は、かけ離れている場合が多い。

自信過剰というか、プライドが高いというか・・・
 お金が絡むだけに、本当に難しい問題であるし、タイ人とは、お金に関する事で、出来れば関わりあいたくないと思う。

12月は、ボーナスの評価と昇給というものがある。
 嫌な月だ・・・

-



自炊ごっこ

2007,12,4



電子レンジと、電気調理器を購入したが、使用頻度は、2週間に1度くらいの頻度である。
 日本で生活していた頃は、電子レンジといえば、食生活に欠かすことができないものであったが、どうも、タイ生活では、「あれば、便利なもの。」という程度の存在である。
 もちろん、タイ在住の友人で、自炊を柱としている人は、欠かせない電化製品であると思うが、僕の場合は、「あっても、なくても良いもの」というレベルである。

それでも、たまに行う自炊の為に、スーパーに行った時は、調味料のコーナーや缶詰のコーナーに目が行くようになった。

缶詰で、「さんまの醤油味」というのを発見したので、買って食べたら、結構美味しいことが分かった。
 しかし、小さな缶詰で19パーツと言う金額は、「ちょっと高いな、」とってしまう。
 タイの普通の魚の缶詰は、10パーツで買えるからである。

シーチキンの缶詰も面白い。

味が付いているシーチキンの缶詰がある。

トマトソース味、グリーンカレー味・・・等、それだけで、おかずとして食べられる。
 これも、結構美味しい。

タイ料理が見たくない時、電気調理器で、麺を茹でる。

そして、ツナ缶詰や魚の缶詰を食べる・・・粗食に感じるが、結構美味しかったりする。

油と味の素とにんにくだらけのタイ料理が、見たくない時は、こういう食事に限る。

-



貰い物

2007,12,3



聞いてはいけないことを聞いてしまった気がした。

2年ぐらい前だったかな？日本在住時代からの友人であるJさん。

数年付き合っている彼氏に、車を買ってあげた。

正確には、デポジットを払った。（多分、定価の50%ぐらいだったと記憶している。）

J氏の買ってあげた気持ちとしては、その彼氏は、学歴もないので、勤めてもろくな仕事が無いし、第一、会社に勤まるわけが無い。

だから、車を与えるから、この車で、パタヤ-国際空港の旅行客の送迎をすることで、自立生活ができるように・・・というのが、狙いであった。

パタヤ市内にあちこちある旅行代理店と契約すれば、仕事はあるだろうという狙いもあった。

久しぶりに、スニーで、ぱったり出くわした彼・・・もちろん、僕から「車どうした？」と聞いたわけではない。

「久しぶり？元気なのか？」という会話の後に、「車、売ったよ。20万バーツで売れた。」って喜んで言ってきた。

最初、少し驚いたが、「やっぱりな。」という思いとなった。

他人から、貰ったものなど、「棚からぼた餅」である。

20万バーツと言え、1年近く、遊んで暮らせる金額である。

J氏が、これを元に、自立生活・・・羽ばたいて欲しいという願いも適わず・・・

もし、J氏が知ったら、がっかりするだろうなと思う。

もちろん、あげた物・与えたものであり、名義も彼の車であり、法的にも何の問題も無い。しかし、あげた理由やそこにこめられた思いなど、全く伝わらなかったことのほうが、残念だと思う。

平均的タイ人が、貯金ができるようになれば、国民の意識は変化し、すごいスピードで発展すると思う。

夜の店で働いている子が、財産を守るようになったら、タイの売春社会も変わるのかもしれない・・・と思う。

いずれにしても、自分の会社の部下と、タイで知り合うタイ人は、同じタイ人とは思えないくらいの考え方・行動パターンに差があることを実感する。

- -



お勧めです

2007,12,2



最近、韓国焼肉屋に良く行く。

韓国焼肉屋は、セントラルパタヤ～北パタヤ方面にかなりの店舗がある。

パタヤには、日本料理屋の数倍もの数の韓国料理屋があると思う。

韓国人在住者・旅行者がそれだけ多いのだろうと思う。

看板もメニューも韓国なので、本場の味(?)なのではないかと予想される。

韓国焼肉の魅力は、何ととっても、野菜・キムチが無料でついてくることである。

日本では、あり得ないサービス?だと思う。

肉は、タイらしく、硬めで美味しいとはいえない。

牛肉よりも、豚肉の方が、無難なくらいである。

肉だけを考えると、日本で食べる焼肉の方が数倍美味しい。

しかし、タイで食べる韓国焼肉は、何種類ものキムチや野菜が出てきて、それが美味しい。

韓国人からすると「脇役」なんだろうが、僕にとっては、「主役」そのものである。

辛目の味付けの為、ダムさんも、嫌いではないようだ。

最近、ビールを控えているので、ビールを飲まないで、焼肉屋に入っても、600バーツほどでお腹いっぱいである。

韓国で食べたことは無いが、パタヤで食べる韓国料理は、非常にお勧めである。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)

